

Rotary



国際ロータリー第2570地区  
2025-26年度

# 地区研修・協議会

プログラム・事業計画書

**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことのために  
手を取り合おう

2025年4月20日(日)

会場：駿河台大学

# 目次

1. 目次	1
2. 2025-26年度地区研修・協議会 次第	2
3. クラブ別出席者名簿	4
4. 駿河台大学構内案内図・分科会案内図	6
5. 2025-26年度国際ロータリー会長メッセージ	7
6. 2025-26年度地区行動指針	9
7. ガバナー挨拶	11
8. 2025-26年度地区ラーニングファシリテーター挨拶	12
9. 2025-26年度危機管理委員長挨拶	13
10. 2025-26年度ガバナー補佐挨拶	
・第1グループ	14
・第2グループ	15
・第3グループ	16
・第4グループ	17
・第5グループ	18
11. 2025-26年度地区幹事挨拶	19
12. 2025-26年度地区委員長挨拶	
・RLI委員会	20
・会員増強委員会	21
・公共イメージ委員会	22
・職業奉仕委員会	23
・社会奉仕委員会	24
・国際奉仕委員会	25
・青少年プログラム委員会	26
・ロータリー財団委員会	27
・ロータリー米山記念奨学委員会	29
13. ロータリー国際共同委員会設立について	30
14. 2025-26年度審議事項	
・(1) 2025-26年度地区予算(案)	34
1名当たり半期地区賦課金(案)	35
・(2) 次年度地区研修・協議会ホストクラブ(案)	35
・(3) 地区のグループ再編成について	36
15. 2025-26年度資料	
・送金カレンダー	37
・地区カレンダー	39
・地区役員組織図	40
・クラブ数・会員数推移(1993-2008)	41
・クラブ数・会員数推移(2009-2024)	42

# 2025-26 年度 国際ロータリー 第 2570 地区 地区研修・協議会 次第

日時 2025年4月20日 (日)

会場 駿河台大学

進行 ホストクラブ副実行委員長 近藤 勝美

## 【第一本会議】 10時から12時30分

1. 点鐘 インカミングガバナー 坂口 孝
2. 開会の言葉 ホストクラブ実行委員長 齊藤 定利
3. 国歌斉唱「君が代」
4. ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
5. 挨拶 ガバナー 五十幡和彦  
インカミングガバナー 坂口 孝  
次年度地区ラーニングファシリテーター 水村 雅啓  
ガバナーノミニー 原島 生慈
6. 来賓ご挨拶 飯能市長 新井 重治 様  
入間市長 杉島理一郎 様  
学校法人 駿河台大学 理事長 山崎 志保 様
7. 感謝状贈呈 インカミングガバナー 坂口 孝
8. 歓迎の言葉 ホストクラブ会長 大野 益利
9. 地区役員紹介（映像）（5分）
10. 2025-26年度 国際ロータリーメッセージ地区方針 インカミングガバナー 坂口 孝
11. 提案 次年度地区幹事 栗原 雄一
  - (1) 次年度地区賦課金及び予算承認の件
  - (2) 次年度地区研修・協議会ホストクラブ承認の件
  - (3) 地区のグループ再編成について ガバナー 五十幡和彦  
次年度地区ラーニングファシリテーター 水村 雅啓
12. 報告「2025年 規定審議会について」 規定審議会代表議員 茂木 正
13. 諸事お知らせ

昼食 12時30分～13時20分

〈昼食後は各部門別研修会場にご参集ください〉

14. 委員会別研修会 13時30分～14時45分

「部門方針」「委員会事業方針」

〈委員会別研修会終了後は本会議場へお戻りください〉

**【第二本会議】14時45分～15時30分**

15. 次年度各リーダー発表（各3分以内）

会長部会	次年度地区ラーニングファシリテーター	水村 雅啓
幹事部会	地区幹事	栗原 雄一
会員増強委員会	会員増強委員会委員長	山田 哲也
公共イメージ委員会	公共イメージ委員会委員長	須田 礼子
職業奉仕委員会	職業奉仕委員会委員長	島田 敏郎
社会奉仕委員会	社会奉仕委員会委員長	金井 福則
国際奉仕委員会	国際奉仕委員会委員長	正田 康高
青少年プログラム委員会	青少年プログラム委員会統轄委員長	高橋 貴子
ロータリー財団委員会	ロータリー財団委員会統轄委員長	細渕 克則
ロータリー米山記念奨学委員会	ロータリー米山記念奨学委員会統轄委員長	一柳 達朗
16. ガバナーノミニー・デジグネート紹介	地区指名委員長	茂木 正
17. ガバナーノミニー・デジグネート挨拶		五十嵐敦子
18. 講評	次年度地区ラーニングファシリテーター	水村 雅啓
19. 次年度ホストクラブ挨拶	坂戸さつき会長エレクト	岡部みゆき
20. 閉会の言葉	ホストクラブ幹事	内村 良一
21. 点鐘	インカミングガバナー	坂口 孝

# 2025-26年度 地区研修・協議会 クラブ別参加者名簿

		会長部会	幹事部会	会員増強部会	公共イメージ部会	
第1グループ	1	川越	吉澤 徳安	高橋 哲彦	(町田 明美)	近藤 武弘
	2	東松山	山下 三佐子	松本 輝美	(大塚 亮)	(飯島 徹)
	3	小川	河原 清市	戸口 勝	(片桐 義雄)	(中村 悟)
	4	坂戸	中村 幹也	渡辺 恭一	松崎 由香里	吉川 朋宏
	5	越生毛呂	磯 哲也	市川 治子	(藤島 弘士)	澤田 巖
	6	川越小江戸	金子 貞男	福山 健朗	山本 庄一	大谷 龍之
	7	川越西	数野 純一	肥沼 靖久	矢部 努	伊藤 晴之
	8	鶴ヶ島	佐々木 龍児	市川 大		
	9	川越中央	田中 秀樹	橋本 直哉	澤田 修	長堀 洋
	10	坂戸さつき	岡部 みゆき	清水 純一	笠間 益伸	齊藤 茂子
	11	東松山むさし	川野 今朝治	宮本 明彦	(高橋 昇)	(内山 明夫)
第2グループ	12	朝霞	高橋 克安	飯田 豊	池田 愛	栗原 忍
	13	志木	金剛 光裕	塩野 章	泉谷 友広	内山 雄二郎
	14	富士見	萩原 喜八郎	平岡 直也	(浅見 隆広)	尾崎 孝好
	15	新座	森 克巳	松岡 昌宏	(森田 輝雄)	(岡本 比呂志)
	16	和光	山邊 峰大	(鈴木 早苗)	鈴木 早苗	[(鈴木 早苗)
17	新座こぶし	山田 一郎	戸高 健司	加藤 涼聖	(戸高 健司)	
第3グループ	18	入間	晝間 和弘	後藤 健	金井 祐一	細田 浩司
	19	所沢	梅沢 好文	井花 佳彦	浅海 剛次	橋本 幹男
	20	飯能	中里 忠夫	都築 敏夫	(小谷野 大典)	本間 由也
	21	新所沢	中野 和也	幸森 康夫	(中川 潤)	徳永 眞澄
	22	日高	小坂 雅彦	(町田 秀雄)	白井 威	清水 佳代子
	23	所沢西	内野 忍	徳江 和宏	吉田 孝	(栗原 和明)
	24	新狭山	石川 幸男	脇 博喜	田口 勇男	西澤 長次
	25	所沢東	藤永 博	奥野 浩	(二上 圭吾)	(小澤 潤)
	26	入間南	齋藤 良徳	石田 徳一	内村 良一	齋藤 定利
27	狭山中央	江原 伸夫	小島 美恵子	柴田 謙	栗原 成実	
第4グループ	28	深谷	(新 道行)	下境 将寛	寺田 恭典	(大谷まり子)
	29	本庄	織田 裕之	橋本 和也	洪澤 健司	間正 良明
	30	秩父	高畑 泰寿	関口 光英	町田 靖夫	新井 高広
	31	寄居	下条 誠	荻野 真仁	森田 淳一	(加藤 祐司)
	32	児玉	(田嶋 聡)	(阿部 博)		
	33	岡部	田中 英雄	西田 隆弘	内田 勝一	大谷 綾子
	34	深谷東	廣橋 宣光	真下 和貴	村岡 敏弘	齋藤 雅也
	35	皆野・長瀨	畝 徳治	山田 利明	小埜 和也	小林 悟
	36	深谷ノース	坂田 光司	(山川 大輔)	橋本 次夫	高田 幸生
第5グループ	37	熊谷	松崎 邦夫	(井上 浩)	柿沼 伸幸	山口 寿人
	38	行田	坂田 幸彦	小林 群司	野口 一信	小椋 剛
	39	羽生	奥澤 直人	田邊 将宏	長沢 允	奥貫 雄太
	40	加須	米山 洋平	福島 秀年	(谷山 誠) 代理 大川 俊行 (野本 幸弘) 代理 高橋 珠磨	
	41	熊谷西	長嶋 靖明	澤田 光弘	(澤田 光弘)	小栗 克明
	42	行田さくら	宮本 伸子	松岡 由浩	橋本 恭一	山岸 泰輔
	43	熊谷東				
	44	吹上	上岡 常浩	遠藤 裕幸		
	45	熊谷籠原	國分 忠義	黒瀬 透	塚田 貴幸	加藤 均
	46	熊谷南	川岸 勝	(新井 聡之)	(小野寺 弘行)	浅川 諭

# 2025-26年度 地区研修・協議会 クラブ別参加者名簿

奉仕プロジェクト			青少年プログラム部会	ロータリー財団部会	R米山記念奨学部会
職業奉仕部会	社会奉仕部会	国際奉仕部会			
(佐藤 道晴)	小川 修一郎	(沢田 通)	和田 尚也	(今泉 嘉章)	住谷 治男
安藤 和俊	柳澤 武秀	白江 龍三	山口 和範	中里 協弘	小高 春雄
(戸口 勝)	中村 悟	(河原 清市)	(戸口 勝)	(河原 清市)	(馬場 真美子)
清水 康弘	鹿ノ戸 健次	田中 勇夫	松崎 陽治	鹿ノ戸 健次	関口 記嗣
(藤島 弘士)	小川 唯一	浅見 清	澤田 巖	市川 治子	市川 治子
福島 昇	新井 祐司	發智 金一郎	新井 康夫	松川 厚子	西澤 孝夫
手島 昌也	芳山 尚史	齊藤 雄司	岸 綾子	田村 隆	山本 敬
西澤 克己	登坂 一彦			横山 明美	向井 宏倫
<small>(岸澤 七郎) 代理出席：内田 卓之</small>	中野 俊明	(秋山 暎)	立川 孝矣	(有岡 俊高)	(渋谷 武)
仁科 成実	吉田 晴一	渡辺 和夫	野口 浩之	関根 則雄	鈴木 宏
関口 和裕	鯨井 美知子	山下 茂	(大塚 幟)	野口 健吉	(大澤 幸吉)
(高橋 克安)	櫻井 元	(堀田 博明)	(前田 敏)	(陶山 憲雅)	(堀田 博明)
(林 康雄)	田中 幸男	(市之瀬 正靖)	宮原 俊介	遠藤 貴博・宮原 俊介	(清水和之)・(戸國大介)
(星野 信吾)	齋藤 茂	(星野 信吾)	涌井 英樹	斉藤 英雄	羽石 隆
村上 俊之	(鈴木 明子)	吉原 礼子	(小泉 哲也)	村上 俊之	山腰 拓実
(高木 茂)	高木 茂	(高木 茂)	(山邊 峰大)	阿久津 馨	
小島 武	小島 幸枝	山田 色子	榎本 大輔	加藤 梢	鹿毛 利久
白幡 英悟	菅野 茂実	宮部 圭太郎	(木下 登)	馬路 宏樹 13:30~参加	吉田 勉
(木村 良孝)	(加藤 和伸)	(本橋 敬明)	三浦 峰高	斉藤 祐次	(平岩 敏和)
吉田 行男	神田 敬文	藤原 秋夫	川口 浩	小川 晃男	前島 宏之
(本田 光弘)	本田 光弘	中川 潤	(中川 潤)	長沢 有紀	(長沢 有紀)
(長谷川 悟)	李 溶姫	<small>上野 宗久 途中退席の可能性あり</small>	古本 良子	上野 宗久	上野 宗久
和記 毅	(恒良 裕子)	(内田 学)	中 毅志	石井 秀夫	(鈴木 伴忠)
新井 敏夫	伊藤 宣明	東 喜代雄	松本 二三男	小川 正幸	竹内 克
北村 隆幸	梶原 敏也	井川 和豊	安里 賢二	(深井 雅俊)	(大河原 秀雄)
細田 源太	粕谷 武司	大野 益利	大河内 隆敵	土田 義人	小林 昌幸
(宮岡 宏太郎)	菊田 邦彦	(清水 武信)	(大野 裕一)	稲見 淳	東 美栄
今井慶一郎	(柿沼 宏行)	足立 修平	<small>押野見孝道 大嶋俊久の代理</small>	(熊谷 俊子)	清水 洋子
相川 浩一	(宮田 博史)	中谷 嘉宏	(関口 ユカ)	(長谷川 京子)	武正 進介
浅見 徹	(新井 利幸)	(丸岡 庸一郎)	關根 昭文	(阪本 昇寿)	阪本 昇寿
(高田 徹)	権田 功	(高倉 隆綱)	(小鮒 哲夫)	吉田 昌弘	(豊田 康業)
戸塚 勇	知念 ポール	福島 秀樹	柿木 左近	金子 将郎	井上 敏夫
(寺田 智久)	寺田 喜光	野口 高利	岡 仁	柴崎 重雄	(山本 情)
板谷 定美	高田 富康	(南須原 宏城)		(宮前 英雄)	(宮前 英雄)
長谷川 順一	川島 豊	水島 章太	関根 敬夫	平井 博	横田 政弘
森田 光春	谷田 雅彦	(田野 隆広)	(秋山 恵一)	新井 隆	(西田 善明)
(大谷 純一)	岡田 則之		清水 龍男	(福島 伸悦)	
仲田 恭久	仲田 恭久	仲田 恭久	岩本 一盛	菅原 好章	菅原 好章
<small>(谷山 誠) 代理 秋葉 健洋</small>	(大堀 弘治)	穂山 正明	古澤 晃	橋本 義久	(大堀 弘治)
(青木 英貴)	青木 英貴	(藤山 慎一郎)	(藤山 慎一郎)	小澤 正道	(小澤 正道)
(上原 謙一)	(山際 満)	丑久保 紀美	(田中 秀和)	(駒見 行彦)	(橋本 祐一)
				馬橋 壺男	
松崎 亮太	池田 敏和	並木 信二	小林 和也	茂木 祐一	中村 広喜
西村 弘史	石井 一則	西村 弘史	(砂川 治彦)	清水 保人	(井上 哲孝)

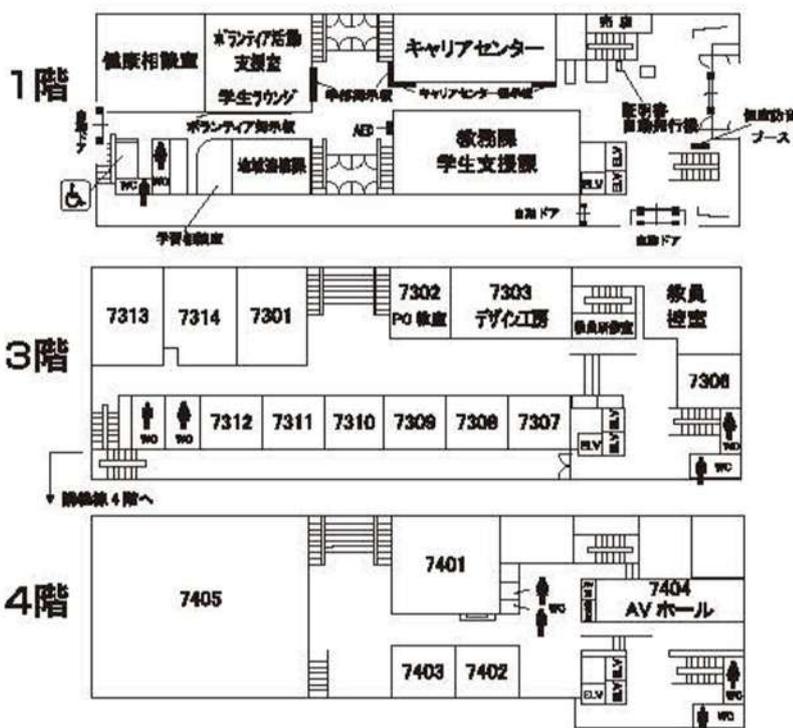
# 駿河台大学

●研修会会場…第二講義棟

●昼食会場……大学会館



## 第二講義棟 教室 割り当て表 3階・4階



### 3階

- 7301 国際奉仕委員会
- 7307 ローターリー財団委員会
- 7308 青少年プログラム委員会
- 7309 会員増強委員会
- 7310 社会奉仕委員会
- 7311 職業奉仕委員会
- 7312 公共イメージ委員会
- 7313 会長部会
- 7314 幹事部会

### 4階

- 7403 ローターリー米山記念奨学委員会
- 7405 総合会場

# UNITE FOR GOOD

～よいことのために手を取り合おう～



2025-26年度 国際ロータリー 会長  
マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ  
(ブラジル・サンパウロRC)

今、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しています。

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームです。私は、アトランタ国際大会で、ポリオ根絶のパートナー団体を代表する人物が、ロータリー会員の並外れた献身を称賛したのを聞いて、このことを学びました。外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました。

それでは、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの原則は単なる戦略ではありません。ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トマー・ジ・ランペドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。

革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

68歳の私は、仲間たちのコミュニティを見つけることがどれほど充実したものであるかを、身をもって知っています。

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50人近い素晴らしい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。

衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みにとらわれずに未来のロータリアンに働きかける機会をもたらします。将来のロータリー会員は必ずどこかにいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります。

ナイジェリアの第9141地区では、サービスの行き届いていない地域に井戸を建設したり、学校に椅子を寄贈したりすることの素晴らしいインパクトを目の当たりにしました。パキスタンでは、2022年の壊滅的な洪水の被災者が、ただ生き延びるだけの生活からより良い未来へと移行できるよう、ロータリーが支援しているスマートビレッジを訪れました。

インドのムンバイでは、ロータリーの補助金で先天性心臓病の治療を受けている子どもたちに会いました。また、別の地域では、緩和ケア病院の外に、がん検診、歯科治療、眼科検診を支援するロータリー財団のロゴが入った救急車が並んでいるのを目にしました。

インネシアのランブンで、デニスと私は、700世帯の経済が小規模ながら変化し、米を生産する農家の収入が増えるのを目にする機会に恵まれました。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、力を合わせれば、世界を変えることができます。ゲイツ財団、WHO、UNICEFといった団体とのパートナーシップは、230億ドルを投じて40年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」という誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。

まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかはのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。

私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。

行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。

これが、2025-26年度の会長メッセージです：「よいことのために手を取りあおう」

分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、未長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。

# 2025-26年度 地区行動指針

2025-26年度 国際ロータリー 第2570地区

ガバナー 坂口 孝 (川越RC)



1905年に誕生したロータリーは幾多の変化を生みながら、大きく成長し地域社会へも多大な貢献をしてきました。しかし、そのロータリーが21世紀を迎えようとした頃から会員数の減少が顕著になってきました。特に先進国であるアメリカ、カナダでの会員数の減少が顕著に現れました。日本も例外ではなく会員数の減少が続いております。また、当地区も例外ではなく1990年後半をピークに会員数の減少が続いています。さらに、その変化に時を合わせるように、会員資格、職業分類制度、例会の意義と言った初期のロータリーの基本までもが大きく変化してきました。

「ロータリーは変化しすぎる」とか「ロータリーが変わってしまった」というメンバーもいるようですが、ロータリーの主体はRIでも地区でもありません。クラブなのです。

これを機に、各々のクラブが自クラブの現状を見つめ直すべきだと私は思います。

先達たちが築き上げてきた偉大な「ロータリーの基本理念」を改めて見つめ直し、主役である各々のクラブが、独自に個性を打ち出し「強いクラブ」を創造していく事が重要です。

地区は、その為の支援を厭いません。

その為には、一旦原点に戻りそこから新たな第一歩を踏み出していくべきだと私は思います。まずは、地区内クラブが「活性化」のための行動を起こし「強いクラブ」になって頂くことが急務です。

21世紀に入り「ロータリーは奉仕団体である」とか「ロータリーはボランティア団体だ」と言われるようになってきました。それは間違いではありませんが、本当にそうでしょうか？ある意味そうかもしれませんが、本来は「ロータリーは奉仕(Service)する人達が集まった団体」だと私は思います。

そして、奉仕(Service)は、決して自己犠牲を強要するものではありません。人のために尽くすことは、巡り巡って結局は「自分の為になる」のです。

**(He profit most who serves best.「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」)**

結びになりますが、Unite For Good～よいことのために手を取りあおう～を合言葉に、「クラブ活性化」を推進していきましょう!

## 『クラブ強化と活性化のために行動して下さい!』

### ①会員基盤の強化

各ロータリークラブは、会員増強は十分にできているが、残念ながら入会した会員数と同じかそれ以上の会員が退会していくことです。

例えるなら、穴の空いたコップに水を注いでいるようなものです。まずは、その穴を塞ぐことに注力をする事が肝要です。

その上で、地域の若いプロフェッショナルやリーダーをターゲットにした勧誘活動を行い、多様なバックグラウンドを持つメンバーを増やすことが重要です。

## ②活動の多様化

国際ロータリーは「奉仕プロジェクト」を地域社会への貢献と人道的支援としています。そうした事からも、地域のニーズに応じた新しいプロジェクトや活動を考案し、地域社会に直接貢献することで、クラブの存在感を高める必要があります。

## ③教育・研修プログラムの提供

リーダーシップや専門スキルに関する研修(ラーニング)を提供し、メンバーの成長を促進します。これにより、メンバーの満足度が向上し、参加意欲が高まります。

## ④交流イベントの開催

他のクラブや地域団体との交流イベントを企画し、ネットワークを広げることで新たなコラボレーションの機会を創出しましょう。

## ⑤定期的なフィードバックの実施

メンバーからの意見や感想を定期的に収集し、改善点を見つけて活動を見直すことで、メンバーのニーズに応じた対応が可能になります。

## ⑥新しいロータリーを創造しましょう。(3-Year Rolling Targets)

- ・戦略計画委員会を設置しましょう。
- ・クラブ協議会で自分のクラブの長所と短所を話し合ってください。
- ・1年後、2年後、3年後のクラブのあり方を検証しましょう

## ⑦ロータリー財団への支援

ロータリー財団への寄付は重要不可欠です。寄付がどこに使われ、どのような役割を果たしているのかを多くのメンバーに知ってもらうことが重要です。寄付の重要性を理解してもらうことで、寄付の推進につながります。そのためには、セミナーへの参加を促し、年2回のロータリー財団についての卓話をお願いします。

## ⑧ポリオ根絶に向けて

日本ではあまり馴染みのない疾病のポリオですが、日本においてもポリオは対岸の火事ではありません。

2025-26年度RIMリオ会長は、ポリオに関して以下のように言っています。

ポリオへの寄付の意味を一言で言うと、「あなた自身の健康には関係ない。あなたの子供もしくはその孫がポリオワクチンを接種していない1歳から5歳だった場合、感染者があなたの国に来訪したならば、その子供あるいは孫は感染し、生涯苦しまなければならない。そのことをあなたは我慢ができますか?」

**ロータリーアンは「行動人」でなければなりません。皆さん、先ずは行動して下さい!**

# ガバナー挨拶

2024-25年度 国際ロータリー 第2570地区

いそばた  
ガバナー 五十幡 和彦  
(行田さくらRC)



## 地区研修・協議会にあたって

次年度会長・幹事を始めとしたクラブリーダーの皆様、そしてこの度の協議会に向け多大なる準備をしてこられた坂口ガバナーエレクトを始めとした2025-26年度地区役員の皆様、本日の地区研修・協議会の開催を心よりお慶び申し上げます。

### 次年度地区3大研修の中の「地区研修・協議会」の役割

次年度に向けた地区3大研修の中で、

- 地区チームラーニングセミナーは次期地区役員を対象に、次年度のRI活動方針、地区活動方針を共有化し、クラブを支援する地区チームを築き上げることが目的です。
- 会長エレクト研修セミナー (PETS) は次期クラブ会長を対象に、次年度RI活動方針、地区活動方針を共有化し、クラブ会長としての準備と意欲を高める場です。

それでは地区研修・協議会はどのような役割を持っているのでしょうか

- 地区研修・協議会は次期クラブ会長、および次年度に指導的役割を果たすクラブ会員を対象に、次年度RI活動方針、地区活動方針を共有化し、クラブの指導者としての準備と意欲を高めることが目的です。

そしてこの協議会はPETSを経て示した次期クラブ会長方針のバックボーンを、足並みを揃えるべく次期クラブリーダー間で共有化する場でもあります。

### ロータリーが世界に与えることができる最大の贈り物・財産は「会員」

2025-26年度からRI会長テーマは、RI会長メッセージに代わり、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトはメッセージとして「Unite for Good ～よいことのために手を取りあおう～」を示しました。そしてマリオ会長エレクトはロータリーの最大の財産は「その歴史でも、プロジェクトでも、比類なき世界的広がりでもありません。それは会員です」と語っています。

### 「会員」が最も価値のある資産だからこそ、会員増強とそれによる活性化が最優先課題

更にマリオRI会長エレクトは「ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は会員です」「私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています」「会員増強とは単に数字を増やすことではなく、組織として私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継続していくことです」と述べ、会員が最も価値のある資産であるからこそ、ロータリーにとって会員増強と、それによるクラブの活性化が最優先の課題であることを力強く宣言しました。

### 坂口年度は会員増強とクラブの活性化を通じて「強いクラブ」になることを支援!

これを受けて坂口ガバナーエレクトは地区の役割として、主役であるクラブが「強いクラブ」になることを目指し、会員増強とクラブの活性化を活動方針として掲げました。具体的には「会員基盤の強化」と「活動の多様化」「交流イベントの開催」などです。

改めて「地区はクラブのため」にあります。2025-26年・坂口年度において地区がクラブの皆様の役に立ち、各クラブの会員増強と奉仕プロジェクトの充実・活性化が図られることを心からご祈念申し上げます。

# 地区ラーニングファシリテーター挨拶

地区ラーニングファシリテーター 水村 雅啓 (入間RC)



## 地区研修・協議会開催にあたって

2025-2026年度のラーニングファシリテーターに指名をいただきました。坂口次年度ガバナーを補佐し、クラブや地区リーダーの皆様の支援をしております。どうぞよろしくお願い致します。

地区研修・協議会は、クラブ会長エレクトをはじめとする次期クラブリーダーに対して、クラブ活性化のために大切な「ロータリー情報」を提供し、それぞれが役割と責務を周知し、クラブのリーダーシップチームとして奮起してもらうための研修と協議の場です。

坂口次年度ガバナーは自身のガバナー年度に備えて、ガバナーノミニー時代から準備をされてきました。そして、今年の2月には米国オーランドで開催された国際協議会に参加され、マリオRI次年度会長のメッセージを踏まえて地区運営方針を策定しました。本日の地区研修・協議会では、クラブリーダーの皆さんは、その方針を十分に理解して各自の役割について学び、次年度のクラブ目標策定に活かしていただきたいと思います。

2024年7月1日からクラブは3年間の目標とローリングターゲット(年度ごとに見直す)プランを実施することになりました。この目標の入力と管理はクラブセントラルでおこないます。目標は、クラブ内でよく協議し全員で共有し、その目標達成のために3年間の戦略計画を立てることが必要となります。次年度は2年目となりますが、改めて次年度以降の目標と戦略計画を再設定してください。

マリオRI次年度会長は国際協議会の中で、成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げました。特に、リーダーシップの継続性の重要性を強調し、ガバナーが前任者の取り組みを土台とし、プログラムや戦略を中断することなく継続させることが地区の発展につながると話しました。クラブも同様に、向こう3年間の会長候補者や委員長などを巻き込んだ協議を行い、戦略計画委員会を設置するなど、より継続性を担保する方法が必要と思います。

時代の変化とともに、ロータリークラブも変化して行かねばなりません。みんなで考え、魅力あるロータリーにしていく時代です。当地区は、それぞれ地域性も異なり、また個性豊かなクラブの集まりです。それぞれの特徴を生かしたクラブ運営が必要となります。自ら「ラーニング」し、学びを通じて成長発展していくことを期待しております。

7月からのスタートにあたり、坂口次年度ガバナー及び役員の皆様、そして地区内クラブの皆様の更なるご活躍を祈念しご挨拶とさせていただきます。

なお、地区ラーニングファシリテーターは、ラーニング委員会の委員長を兼ねており、次年度におきましては、クラブ活性化ワークショップをはじめ3年未満会員研修などのラーニングセミナーを開催する予定です。ご参加をよろしくお願いいたします。

# 危機管理委員長挨拶

危機管理委員長 高柳 育行 (本庄RC)



## ハラスメントのないRotary

ロータリーは、すべての人に安全で、楽しく、差別のない環境をつくるために、ハラスメントに関する方針を定めています。この方針で「ハラスメント」とは、個人またはグループと特性(年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会・経済的地位、文化、性別、性的指向、性自認)に基づいて、言葉または身体的に、中傷、侮辱する言動、または攻撃的な言動を指すと定義されています。

「ロータリー章典」には、多くのハラスメントに関わる条文があり、ハラスメントのない環境を重要視していることがうかがえます。特に「青少年と接する際の行動規範に関する声明」では、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くす責任があるとしています。また「虐待およびハラスメントの防止と報告手続き」では、ハラスメントに対して、いかなる違反も法規適用する方針(ゼロ容認方針)を有するとしています。

当地区では、危機管理規則と危機管理規定を制定しています。そのもとで危機管理委員会を設置し、必要に応じて危機管理委員会を開催しています。迅速かつ適切に対処することにより、ロータリーに対する信頼を高めたい考えですが、地区への報告が必要です。危機管理委員会は、その危機事案が対処事案であるかどうか判断のうえ、適切な対処のための方策を講ずることを任務としています。

青少年に関わるロータリーの奉仕プロジェクトである青少年交換プロジェクトでの交換学生やその候補生、ロータリー米山記念奨学事業での奨学生や学友、更には、インターアクト、ローターアクト、ロータリー財団の候補生や学友に対して、ハラスメントのない環境を提供することは大切なことです。そして各クラブが行う社会奉仕等に関わる青少年に対しても同様に配慮が必要です。

青少年交換事業やロータリー米山記念奨学事業では、お世話をさせていただくクラブの関係者だけでなく、ホストさせていただくご家族、またその関係者もいて、多くの方々にロータリーの活動に関わっていただいております。その方々にも、ハラスメントのない環境をつくることにご協力いただかなければなりません。

ハラスメントの事案は、相手への思いやりが欠けていたり、謙虚でなかったり、余裕がなかったりしたときに起こるものです。ロータリーの活動で不安や不信感、不愉快な感情を持たせるだけでなく、重大な傷を与えることもあります。青少年に関わる奉仕活動だけでなく、ロータリアン同士の間でも、自分の言動が相手にどのような影響を与えるか、想像しながら取り組んでいただき、信頼関係を構築して欲しいと思います。信頼関係のもとで、多くの人々が関わり、奉仕活動をすることにより、魅力のあるロータリーになる確信しています。皆様のご理解とご配慮をよろしくお願い致します。

# 第1グループ

## 第1グループガバナー補佐 齊藤 大祐 (鶴ヶ島RC)

2025年-2026年度、第一グループガバナー補佐を仰せつかりました鶴ヶ島ロータリークラブ齊藤大祐と申します。職務の重要さに襟を正す想いに駆られております。浅学非才の身ではございますが、重責を全うする為に全力で取り組んでまいりたいと思っておりますので、皆様方のご指導とご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

2025年-2026年度国際ロータリー会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏は、メッセージの中で、成長、奉仕、つながりを大切にして「[UNITE FOR GOOD]よいことのために手を取りあおう」と呼びかけられ成長の為に不可欠な3つの柱として、革新、継続、パートナーシップを示されました。

2025年-2026年度、坂口 孝ガバナーは、「ロータリーは奉仕をする人が集まった団体」と常に申されております。しかしながら昨今の会員数減少に伴うロータリークラブの変化に対して常に危機意識を持たれておりました。そこで次年度の活動方針として、ロータリーの活動理念を見つめ直し原点に戻りそこから一歩踏み出してクラブを活性化し、強いクラブをつくる事を大きな柱として示されました。

基本理念に裏打ちされた良い変化、と言い換える事が出来るのではないのでしょうか  
マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長の3つの柱がありましたが、「ロータリーの主体はクラブ」、と言う視点で考えてみると、「革新」とは、伝統に裏打ちされた良い変化、「継続」とは、世代を継ぐ良い伝統、「パートナーシップ」とは、多くの団体や人々から良いことは学び時として共同活動を行いそれらを実践していく事ではないのでしょうか、根底にある大事なことは、「フェロウシップ」志を共有した仲間、言い換えれば基本理念をしっかり身に着けたロータリアンを増やす事、それこそがクラブの活性化、クラブの強化と言えるのではないのでしょうか、志を共有し、強いクラブ、より良いクラブ、強いロータリークラブをつくる事が2025年-2026年度坂口 孝ガバナーの想いです。その想いを実現する為に皆様方のご理解とご協力、何卒、宜しくお願い申し上げます。

また、2025年-2026年度坂口 孝ガバナーが提唱いたしております下記の8大地区方針の推進も重ねて皆様方のご理解とご協力、宜しくお願い申し上げます。

1. 会員基盤の強化
2. 活動の多様化
3. 教育・研修プログラムの提供
4. 交流イベントの開催
5. 定期的なフィードバックの実施
6. 新しいロータリーを創造しましょう(3-Year Rolling Targets)
7. ロータリー財団への支援
8. ポリオ根絶にむけて

最後になりますが、ガバナー補佐の任務の1つにクラブの状況を報告する事がございます。何かクラブ内で、お困りごとや重要な問題等がございましたらご相談頂きたいと思っております。

皆様方と共にまた、皆様方に教えて頂きながら全力で努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 第2グループ

### 第2グループガバナー補佐 大畑 茂 (朝霞RC)

伝統は重要です。

しかし、私たちが伝統を包摂しているのであり、  
伝統が私たちが包摂しているのではありません。

(ジョン・ヒューコ事務総長兼最高経営責任者 「2025年国際協議会でのスピーチ」より)

いうまでもなく、ロータリークラブは国際ロータリー(RI)の会員であり、ロータリアンはロータリークラブの会員です。この三者の間には伝統的に微妙な齟齬が存在していますが、RIの基本理念と戦略計画、及び、坂口孝次年度ガバナーの提唱する地区方針の下、ガバナー補佐の職掌\*1をふまえ、「ロータリーの主体たるクラブの強化と活性化の推進」に尽力してまいります。

去る2月10日、ロータリー国際協議会にて、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトが「ロータリーの最大の財産は会員です」と前置きをし、“Unite for Good”とのアピールを発信したとき、“Doing good in the world”\*2が心に浮かびました。同時に、「近年、ロータリーの変容が喧伝されているが、はたしてこれはロータリーの現状と未来とを的確にとらえた上でのものだろうか」との思いも巡りました。

たとえば2019年の「DEIの声明」。「Diversity, Equity, Inclusion」にBelongingを加えた「多様性、公平さ、包摂性、帰属意識」をRIは6年前に「新たな戦略」として示しました。しかし、実際にはこれらの語句は1900年代初頭にはすでに社会的に成熟していた概念であることが『The Rotarian』誌から確認できます\*3。

たしかに、あたらしい思潮を表現するためには新しい形式が必要です。しかし、ロータリーは徒に外部からの圧力を受けて受動的に変質したのではありません。自らが築き上げた文化の上に、時代の変化を受容し、柔軟かつ能動的に自らを変容させて現在に至っているのです。つまりは「輸攻墨守」……。1905年の創立以来120年余の伝統が私たちが包摂しているのは事実です。しかし、ガバナー補佐職拜命に際し、「私たちロータリアンは伝統の上に智慧を重ね、世のため人のために万策を巡らしてきた者である」という思いを高く掲げて責務に努めます。大愚なる者に寛容の心を以てお力添え賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、私たち2570地区が地区リーダーシップ・プランに基づきガバナー補佐制度を導入して以来25年を数えました。第2グループからは初代として山田一郎会員(新座こぼしRC)をお送りして以来、選出は輪番を原則としてまいりました。が、この度、ガバナーエレクトの専決事項とはいえ、新座ロータリークラブより順をお譲りいただきましたことに衷心より御礼を申し上げ、結びといたします。

註

- \*1 『ロータリー章典』 2024年10月 17.030. クラブ運営に関連した管理業務を遂行することで、ガバナーがその責務に専念する時間が持てるようにする(要旨)
- \*2 1917年のアトランタ大会での「ロータリー財団の父」アーチ・C・クランフによるアピール。
- \*3
  - 講演者と聴衆の両方に意見の多様性(Diversity)が見られました。(記載『The Rotarian』 1926年7月号P27)
  - 社会や共同体としての存在における共通の接点に対する日常的な関係に公平性(Equity)と正義のルールを適用する傾向が高まり、広がっています(記載『The Rotarian』 1915年3月号P48)
  - 適格なすべての要素を包含し(Inclusion)、誰も排除しない。(記載『The Rotarian』 1927年5月号 P34)

## 第3グループ

---

### 第3グループガバナー補佐 高橋 和男 (所沢西RC)

---

このたび、2025-26年度第3グループガバナー補佐を拝命いたしました所沢西ロータリークラブの高橋です。責任の重さを感じるとともに、この役割を通して各クラブの皆様と共に歩み、ロータリー活動の発展に貢献できることを大変光栄に思っております。

2025-26年度坂口ガバナーは、「各クラブの独自性を尊重しながらも活性化を支援し、強いクラブづくりを推進する」ことを方針として掲げられておられます。そのためにも、クラブの弱体化を防ぎ、会員の皆様が誇りを持ち、意欲的に活動できる環境を整えることが重要です。私はその一助となるべく、努力していくつもりです。

また私は、坂口ガバナーも発信されているように「考えるよりもまず行動する」ことを信条としております。新たな役職をいただいた際には、断る理由を探すのではなく、どのようにすればその期待に応え、貢献できるかを考え、まずは一歩踏み出すことを大切にしています。ガバナー補佐の話が出た際もそうであり、ロータリー活動においても、まずは行動し、試行錯誤しながら進むことで、新しい可能性が開けると確信しています。第3グループの各クラブが、それぞれの特色を活かしながら活性化し、より魅力あるロータリークラブになるよう、そして、ロータリーソングにもあるように、あらゆる意味で「それでこそロータリー」を具現化すべく、ガバナー補佐として全力を尽くす所存です。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

# 第4グループ

## 第4グループガバナー補佐 橋本 和行 (岡部RC)

私の受け持つ第4グループは大きく分けて深谷・本庄・秩父という地域になります。それぞれが特徴を持ち、また地域に根差し活動しております。ガバナーも多く輩出され力強い地域と言って良いでしょう。輪番制とは言ってもガバナー補佐を託された以上、地区とクラブの橋渡しを行う職務の重要性を認識し、若輩ではございますが第4グループさらには2570地区のお役に立てるよう尽力していく所存でございます。

2025-26年度からRIのテーマが無くなりましたが、RI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏(ブラジル・サンパウロ)は「UNITE FOR GOOD」[よいことのために手を取りあおう]との会長メッセージを発信されました。これはスリーイヤーズターゲットを実現されるためのヒントです。

それを受けて、第2570地区坂口ガバナーは「ロータリーの主体はRIでも地区でもありません。クラブ強化と活性化のために行動してください!」とメッセージを寄せられました。

これもまた、地区のテーマ廃止による結果ですが、つまりは、すべては各クラブに託されたということなのです。

まさに「クラブ強化と活性化」を目指すならロータリー活動は受け身ではいけません。我々ロータリアンは奉仕の精神を持った個人の集まりなのですから、奉仕の精神を持ち寄り、より大きな力として地域に役立てて行く方法を考えて行きましょう。

私は、ロータリーで一番楽しい、楽しむべき事は例会であると思います。ほぼ毎週のように再会する仲間との再開を心待ちできるような日々を送って、例会日をワクワクする気持ちで迎えたいものです。

### 【意義ある例会】

1. 自クラブ会員の卓話の機会を作りましょう。皆さんはそれぞれがプロフェッショナルです。その道でリーダーを受け持つ立場です。あなたのポリシーや経験談が皆さんの役に立つことでしょう。
2. 行動計画 目標を設け、実行し、結果を検証しましょう。次につながるプロセスとなります。
3. クラブ内表彰をしましょう。数は決めません。クラブ会長が独断で決めてください。大人になっても褒められることは嬉しいものです。そして励みにもなります。

### 【出でて学ぶ】

4. ロータリーの活動を広報しましょう。日ごろからロータリーバッジを身に着けて、ロータリアンであることを公表しましょう。意外と出先で声を掛けられますよ。誇りをもって、仲間を勧誘できます。
5. メークアップに参加しましょう。出席日数に関係なく他クラブを訪問し、知人友人が増えるのは楽しいものです。多くの学びにもなります。

私たちは情報の中で活動をしています。大勢のロータリアンの仲間と生きた情報交換をし、友情を温め、素晴らしい人生を送りましょう。

## 第5グループ

---

### 第5グループガバナー補佐 渡邊 藤男 (熊谷南RC)

---

次年度第5グループガバナー補佐を務めさせていただく事になりました。大変身の引き締まる思いです。

次年度坂口ガバナーは「ロータリー基本理念」を改めて見つめ直し主役である各々のクラブが独自に個性を打ち出し「強いクラブ」を創造していく事が必要ですとっております。

その為にはクラブが活性化しなくてはなりません。ガバナー補佐の責務としてクラブのサポートをしてまいりたいと考えております。

又、坂口ガバナーのメッセージを会員の皆様にご協力いただけるようにサポートしていきたいと思えます。

クラブの活性化には、CLPに沿った組織づくりが必要だと考えます。またラーニング(マイロータリ)を活用してロータリーを再度学ぶことへのサポートもしていきたいと考えております。

結びになりますが、皆様方のご協力がなければクラブの活性化もできないと思えますので、一年間よろしく願い申し上げます。

# 地区幹事

---

地区幹事 栗原 雄一 (川越RC)

---

## クラブ強化と活性化

2025-26年度国際ロータリーマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長の「Unit for Good」～よいことのために手を取りあおう～ 2025-26年度坂口会長の「強いクラブ」、「クラブ活性化」8つの地区行動指針を念頭に活動して各クラブの運営が円滑に出来るように一助になるように推進していきます。特に(3-Year Rolling Targets)の2年目として次に繋げる役割と地区とクラブのサポートを出来るように取り組んでまいります。

### クラブ幹事の責務

- 地区研修・協議会と地区大会に出席する。前任の幹事からクラブの記録を受け取る。
- クラブの次期役員や理事会メンバーと密に連絡を取り、次年度の計画を立てる。クラブの戦略計画を見直し、現状に合った内容になっていることを確認する。戦略計画の更新について理事会と話し合う。
- クラブ情報と会員情報への変更を、MYROTARYで更新する。
- MYROTARYでクラブの記録と会員リストを更新する。
- クラブが最新のロータリー組織規定文書を保管し、必要に応じて参照できることを確認する。
- 会計がクラブ請求書の支払いを延滞なく行うことを確認する。
- クラブ理事会と管理運営委員会のメンバーとなる。
- 会員増強委員会と話し合い、入会候補者情報の管理の担当者を決める。
- 例会、理事会、協議会の議事録を取る。
- オンラインの公式名簿に掲載されるクラブと役員をの情報を更新する。
- メール連絡への対応、通知や招待状の送付など、クラブでの連絡全般を管理する。
- 行事で使う資料や名札などを管理する。
- クラブの史料を保管する。
- 年度末に年次報告書を作成する。
- 必要に応じて、会長、会計、各委員会を援助する。
- 後任の幹事にクラブの記録を渡す。

# RLI委員会

RLI委員会 委員長 新井 啓介 (行田さくらRC)

## 元気な強いクラブを創ろう

RLIとは、ロータリーリーダーシップ研究会(Rotary Leadership Institute)の事です。RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。RLIは、ディスカッション形式のセミナーです。実際に参加してみると、ロータリーの理解が深まったり、他のクラブの参加者と親しくなったり、良いコトがたくさんあります。是非参加してみてください。3回(3日間)のセミナーを修了すると、ファシリテーターの資格が取得できます。そして、次はファシリテーターとして活躍してみませんか。以前、DL(ディスカッションリーダー)を取得された方は、再度の受講で、FT(ファシリテーター)を取得してください。

### <RLIプログラムについて>

RLIは、世界中の地域支部に組織された会員のための、草の根(ロータリアン一人一人に対して)による多地区合同リーダーシップ開発プログラムです。RLIプログラムは、R I 理事会によって推奨され、また3年ごとに開催される3回の規定審議会で、力強く支持されました。RLIは、最近クラブに入会した新会員を含めて、将来のクラブ役員候補者やその他のクラブ会員のために、質の良いリーダーシップ開発コースを実施してきました。RLIの各コースは、リーダーシップ技能や世界中のロータリーの知識を強調しています。すべてのコースは、すべて対話型となっています。RLIは、このリーダーシップ研修によってロータリーに対する情熱が沸き、ロータリーにさらに熱心に取り組むことで、会員維持にプラスの影響がでるものと信じています。RLIは、国際ロータリーの推奨プログラムです。RLIは、1992年にアメリカで始まり、2008年に日本に導入されました。第2570地区では2014~15年度(坂本年度)に、RLI委員会(細井委員長)が、発足致しました。RLI日本支部の地区代表委員は、加藤PG・高柳PG、現在は、坂本PGが務めています。地区ファシリテーターは、現在、相原PGが務めています。

### <RLIセミナーへのご案内>

#### 1.参加して頂きたい方

- ①今年度、次年度の会長、幹事及び予定
- ②ロータリーについてもっと知りたいと願う人
- ③ロータリアンなら、どなたでもOK

#### 2.25-26年度の予定

		日時	場所
第1回	Part I	9月27日(土) 9:00~17:00	女性教育会館(嵐山町)
第2回	Part II	10月25日(土) //	//
第3回	Part III	12月20日(土) //	//

#### 3.申込方法と費用

- ①各クラブへクラブ会長宛で募集のご案内が届きます
- ②必ずクラブ内での募集をお願いします
- ③費用はご案内に書いてある通りです(計3,000円)  
第1回目だけテキスト代として1,500円追加されます  
別途、昼食代1,000円を頂戴します

# 会員増強委員会

会員増強委員会 委員長 山田 哲也 (川越RC)

## 国際ロータリー会長が掲げたメッセージは Unite for Good ～よいことのために手を取りあおう～

今現在の第2570地区は、活気のあるクラブと無いクラブとで二極化していることが窺えます。そのような中のこの地区テーマは現状打開にはピッタリのテーマだと思います。

そのお考えとおりに原点に帰り、ロータリークラブの意義を確認し、各クラブの良い所を再度見つめ直し、有意義な活動を行うことで会員増強に生かしていく事が重要だと考えます。そしてまた、2024-2025年度より始まった「3-Year Rolling Targets」の考えのもと、複数年での目標達成を目指す、そのために活動計画を再度確認し行動していくことが重要だと思います。

そして今までで行っている地区会員増強委員会の活動は次の3項目です。

- 1：地区内の会員30名未満のクラブへの訪問
- 2：各クラブに沿って戦略計画の立案お手伝い
- 3：公共イメージ委員会等、他の委員会と必要に応じて連携

次年度も引続き3項目の活動を行うと共に、初年度の活動の総括も行います。

また、坂口年度での方針を踏まえ、退会者の削減も併せて努めて行きたいと思えます。

各クラブには、退会対策の為に次の2項目をお願いします。

- 1：現会員(長期休会者、新入会者)へのフォローアップ
- 2：SNS(face book, LINE等)の活用

新入会者や休会者へのフォローアップを行い全会員どうしの親睦を図る事が退会者を防ぐには一番有効な手段だと思います。また、ご存知のとおりSNSでの交流の有効性が実証されており大いに活用すべきです。

坂口年度の地区テーマに有るように「ロータリーの主体はRIでも地区でもなくクラブなのです」ですので次年度もクラブ主体の会員増強を考えております。いろいろな情報、進め方、やり方等。各クラブによって違うと思えます引き続き各クラブと寄り添いながら活動して行きます。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

# 公共イメージ委員会

---

公共イメージ委員会 委員長 須田 礼子 (本庄RC)

---

## 2025-2026年度 国際ロータリー デ・カマルゴ会長 メッセージ Unite for Good ～よいことのために手を取りあおう～

### 【基本方針】

2025-2026年度のRI会長掲げておられるメッセージ『手を取りあうこと』のできる地区にするために、そして坂口孝ガバナーの『クラブ強化・クラブ活性化』という思いに沿うため、公共イメージ委員会としてできることは何かを考えました。

会員の行動や、クラブが実施する活動とそのインパクトによってロータリーの公共イメージは形作られます。

我々第2570地区では、46クラブがそれぞれ奉仕活動を行っています。まずは地区がそのクラブの情報を吸い上げ、各クラブと接点をもつことが第一と考えます。クラブのことを把握し、初めて外部へその活動内容をより良いカタチで発信することができるのではないかと考えております。

クラブ同士を風通しの良い強いパイプでつなげることが、2025-2026年度の公共イメージ委員会の大きな役割だとも思います。クラブ同士が『手を取りあい』『活気を分かち合い』刺激しあうことが2025-20026年度の当委員会の方針です。

### 【活動計画】

1. 各クラブの『奉仕活動』や『地域に根ざした活動』の把握と応援、またその情報整理
2. 各クラブの情報を地区から外部へ発信する仕組みづくり
3. 地区がネットワークハブとなり、クラブ同士が「他のクラブの活動を知る」場をつくる

# 職業奉仕委員会

職業奉仕委員会 委員長 島田 敏郎 (富士見RC)

## 【はじめに】

職業奉仕は、「ロータリーの目的」の第2項を土台としており、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められている。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事はすべて価値あるものとの認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

## 【職業奉仕とは具体的にどのようなことか】

例) 車の製造会社

- 無料で救急車用の車両を自治体に提供する: 社会奉仕
  - 消費者のためになる安全で、運転しやすく性能の良い車、環境にも優しい車を製造し、適正な価格で販売する: 職業奉仕
- 職業で得られた利益を奉仕に還元するのではなく、職業自体で奉仕するという考え方。

## 【職業奉仕にまつわる標語】

- Service above self フランク・コリンズ

「超我の奉仕(サービス)」

- One profits most who serves best アーサー・F・シェルドン

「最もよく奉仕(サービス)する者、最も多く報われる」

→ 職業を通じて他者、つまり消費者のためになる行為を続けることが、その企業の信用を増し、繁栄をもたらし、さらには個人の幸福につながる。

## 【あらためて職業奉仕とは】

職業奉仕とは、職業を通じて他者のためになることをすることである。では他者のためになることをするには何をすべきか。

① その職業が価値あるものであると認めなければならない。

② 企業であれば従業員たちが働きやすい環境を整え適正な賃金を支払う。

→ 高い倫理観と高潔性を持った人々がその職業に集まる。(=ロータリーの目的第2項)

→ 従業員たちが自らの職業に満足していれば、自然と他者の利益を重んじた商品・サービスが追求される。

その結果企業が繁栄し、企業も従業員も経営者も、そして消費者も満足を得られ、最終的には社会への貢献となる、これが職業奉仕の目指すところである。

## 【職業奉仕の実践—四つのテスト—】

「四つのテスト」はロータリー創設50周年に国際ロータリー会長を務めたハーバード・J・テイラーが1932年の世界大恐慌の時に考えたもの。商取引の公正さを測る尺度として多くのロータリアンに活用されてきた。職業奉仕の実践に必要な高い倫理観と高潔性を持ち続けるため、ロータリアンはもちろん一般の従業員の方々にも自己評価の基準としてご活用いただくことを推奨する。

## 【今年度職業奉仕委員会が目指すこと】

- 職業奉仕への理解を深めていただくため、各クラブにおける「職業奉仕ラーニングツール」の活用を推進する。
  - 各クラブにおいて「四つのテスト」の唱和と、各会員の職場における周知・実践を推奨する。
  - 会員の皆様にご自身の職業における職業奉仕を遂行していただき、それぞれの職業、クラブ、地域全体をより発展させる。
- ロータリーは職業人の集まりです。それぞれの職業の発展はクラブの活力となります。ぜひ、職業奉仕についてご理解を深め、それを実践することで第2570地区からロータリークラブ、そして地域社会を元気にしていきましょう。

# 社会奉仕委員会

---

社会奉仕委員会 統轄委員長 金井 福則 (本庄RC)

---

## **[社会奉仕委員会全体として]**

坂口孝ガバナーは、各クラブの奉仕プロジェクト推進のための取り組みに、力を入れ支援していくと掲げられました。それには、会員の奉仕に対する意識改革が必要だと捉えております。意識改革をすることで、考え方や行動が変わり、人生観が変わります。今年度は、意識改革を呼びかけ、社会奉仕への関心を高めていきたいと思っております。

## **[地域社会奉仕委員会]**

地区での地域社会奉仕委員会の役目は、各クラブへの情報提供と各クラブ同士の意見交換の場を作ることです。当委員会としては、社会奉仕活動を実践しているクラブの情報提供と、意見交換のステージを提供していきたいと思っております。

## **[子ども家庭委員会]**

1945年8月15日、日本人は焼け野原の中で終戦を迎え、戦後の復興時はゼロからのスタートでした。人々は夢と希望に満ちていましたが、終戦から80年が経ち貧富の格差と共に、教育の格差も広がり、一番弱い子どもが不平等の問題をかかえています。今日の日本の子どもは、7人に1人が貧困だと言われております。近い将来その比率はもっと高くなることでしょう。子ども家庭委員会では、何か一つでも子ども貧困の一助となる活動をしていきたいと思っております。

# 国際奉仕委員会

---

国際奉仕委員会 統轄委員長 正田 康高 (深谷東RC)

---

1905年2月23日、ポール・ハリス、ガスターパス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日です。

この日がロータリーの創立記念日であり2月が『世界理解月間』に定められました。

世界理解月間を踏まえ----ロータリーの目的第4項

**『奉仕の理念で結ばれた職業人が、  
世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること』**

世界理解、並びに国際奉仕には発展途上や開発途上の国に資金援助や人道的奉仕プロジェクトを2ヵ国以上のクラブが関わり、いずれか1ヵ国で実施します。

具体的には1.医療支援 ②教育支援 ③地域社会支援 ④人道支援 ⑤平和推進

⑥環境保護など国や地域により支援は様々です、相手先との的確な支援体制を確立しなければなりません。

上記の方針を委員会で精査しスキルを学び、活動してまいります。

※グローバルサポート委員会:道支援等の補助金プロジェクトの活用

※グローバル交流委員会:地区内のクラブ等の姉妹クラブなどの支援

# 青少年プログラム委員会

青少年プログラム委員会 統轄委員長 高橋 貴子 (行田さくらSRC)

青少年プログラム委員会は15歳から18歳を対象とする奉仕活動です。

「アクト・ライラ委員会」と「青少年交換委員会」の二つの委員会で構成され、クラブ事業の支援をさせていただきます。

～青少年達とロータリアン、手を取り合い、クラブ活性化と世界平和を～

## ■アクト・ライラ委員会

～提唱クラブ・学校・顧問教師会・インターアクトクラブの学生達と手を取り合い～

社会奉仕を理念に掲げたインターアクトクラブの活動は、他者に寄り添う想いや、地域社会への貢献等の高いモチベーションを持っています。提唱クラブのご支援により、彼らの活動場所や達成感を向上させられるような年度を目指しています。そのためにもロータリアンの活動や支援内容の周知、事業への参加が大切です。インターアクトクラブの学生を参加させたクラブの事業を多数実施して頂けると幸いです。

若き「行動人」とも言えるインターアクトクラブの学生たちの志を大切に、リーダー育成に繋がることを願っております。

## ■青少年交換委員会

～ホスト/ホストクラブ・ホストファミリー・受入学校・交換先の海外の地区と手を取り合い～

青少年交換プログラムでは異文化を理解し、国境を越えた友情を築く事で世界の平和の実現を目指します。青少年の国際社会への関心を高め、若きリーダーに平和への道筋を歩んで欲しいという願いです。

2025-2026年度、第55期生が派遣される年度となります。3名の派遣生の交換相手国は「インドネシア」「台湾」「イタリア」です。1年間のオリエンテーションを経て海外生活をし、たくましく成長する青少年に期待いたします。

## ■Peace Path Project (P.P.P.)

～地区・国・世代を超えた方々と手を取り合い～

通常の3名の青少年交換プログラムの実施の他に、地区・国・世代を超えて繋ぐ支援といたしまして「Peace Path Project」(P.P.P.)を実施いたします。P.P.P.ではウクライナから1名のインバウンド学生を受け入れます。同時にポーランドに1名の学生を派遣して、ポーランドに滞在するウクライナ避難民への直接支援活動を託します。

青少年奉仕事業にはクラブにとってクリアすべき多くの課題が生じます。クラブの皆様と共に課題解決をして乗り越えた先にはクラブ活性化という実りがあると思います。世代も地域も超えて手を取り合い、私たちが青少年という若い芽を大切に育てはぐくむ事でリーダーが育ち、いつの日か彼らが世界平和を導いてくれるであろうと信じています。

# ロータリー財団委員会

ロータリー財団委員会 統轄委員長 細淵 克則 (入間RC)

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

ロータリー財団委員会は、財団についてクラブに情報を提供し、財団プログラムへの参加と寄付に対するクラブの意欲を高めるように努めます。また、DDF(地区財団活動資金)利用の承認および補助金申請のためのクラブの参加資格認定を担当します。さらに、ロータリー財団が推奨する5つの委員会(具体的には以下のような責務を担います)を設け活動することにより、ロータリー会員からの寄付が世界でよいことを行う財団プログラムを支えていること、ロータリー財団は私たち一人ひとりのものであることを、より実感していただけるように努めてまいります。

## ■ポリオプラス委員会

ポリオ根絶に向けたロータリー活動を支援し、ポリオプラスへの支援と活動への参加を奨励する。

## ■資金推進委員会

年次基金、ポリオプラス基金、恒久基金における地区のファンドレイジング目標を調整し、寄付の奨励と寄付の方法に関するロータリアンの理解向上を支援する。

クレジットカードを利用することでポリオ根絶への活動資金に寄付できる「ロータリーカード」の認知度を高め、ロータリアンの利用推進を図る。

## ■補助金委員会

クラブによるロータリー補助金の申請を援助し、地区補助金とグローバル補助金への参加を奨励す

## ■財団資金管理委員会

クラブの補助金参加資格を監督し、ロータリーの補助金資金の徹底した管理と、適切な資金管理方法に関するロータリー会員への教育の責務を担う。

## ■奨学学友・平和フェロー委員会

世界理解と親善による世界平和に共鳴し、研究と共に友好と交流を積極的に行える奨学生を募集し、一年間のオリエンテーションを行い、それぞれの申請を行う。

ロータリー平和フェローシッププログラムへの支援と参加をクラブに奨励し、候補者による申請を管理する。

**※各クラブの会長並びにロータリー財団委員長へのお願いを具体的に記します。**

1. クラブの財団への寄付目標を5月末までに報告してください。

(国際ロータリーのホームページでMy Rotaryに登録し、クラブのデータベースとなるロータリークラブ・セントラルで入力)

2025-26年度の寄付目標は、会員一人あたり、年次基金150ドル以上・ポリオプラス30ドル以上・恒久基金30ドル以上、合計で210ドル以上としました。

2. 寄付目標を達成できるよう働きかけをお願いいたします。

3. 少なくとも年に2回、ロータリー財団についてのプログラムを実施するようお願いいたします。

10月24日は世界ポリオデーです。

2024年の世界ポリオデーには、5,000以上のクラブが142カ国で約8,000のポリオ関連活動を実施し、マラソン、医療診断、有名建造物のイルミネーションなど、さまざまな活動を通じてポリオ根絶に対する献身と熱意を示しました。クラブの参加数は2023年よりも20%増加し、過去最高の記録となりました。特に第4455地区(ペルー)、4380地区(ベネズエラ)、4751地区(ブラジル)、4780地区(ブラジル)、4420地区(ブラジル)では、世界ポリオデーの活動を記録したクラブの割合が世界で最も高くなりました。

11月は、ロータリーの特別月間のうち「ロータリー財団月間」です。

例会でロータリー財団の卓話を聞く、ポリオ根絶活動の広報や募金活動を行う、チャリティーゴルフ大会を開く、さらに財団の補助金を利用しての社会奉仕活動を行うなど、ロータリー財団支援のモチベーションを高めるような例会プログラムを実施してください。

# ロータリー米山記念奨学委員会

ロータリー米山記念奨学委員会 統轄委員長 一柳 達朗 (入間RC)

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来日本と自国、又は世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事が事業の使命です。平和を愛し、青少年に手をさしのべた日本のロータリーの父「米山梅吉氏」の功績を記念して、1952年12月、東京ロータリークラブが米山奨学制度を設立し、海外からの留学生を支援する国際奨学事業を始めました。1954年9月には奨学生第1号としてタイから来たソムチャードさんを受け入れ致しました。この事業はやがて日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年7月に文部省(現・文部科学省)を主務官庁とする「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立されました。米山奨学制度が設立されてから70年以上の歴史を持ち、財団設立からもう少しで60年になります。この奨学金制度は世界に類を見ない日本ロータリー独自の他地区合同プログラムとなっております。

## 「米山シンボルマーク」

このマークの重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。手はそうした「心」を育てるという事業創設の願いが込められています。手はそうした「心」を生み出すと同時に当事業が全国のロータリアンの手で支えられている事を示しています。

## 「世話クラブとカウンセラー」

日本には約2,200余りのロータリークラブがあります。そのうちの1つのクラブが1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山記念奨学生となった留学生は世話クラブの例会へ「出席する事」が義務付けられていて、そこで奨学金をクラブ会長から受け取ります。これは米山記念奨学会独自のシステムです。原則銀行口座等への振り込みは行いません。もう一つの特徴は「カウンセラー制度」です。奨学生1人に対し世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは奨学生個人の個人的ケアにあたるアドバイザーです。

第2570地区の2025-2026学年度の米山記念奨学生は米山記念奨学会の決定により、継続奨学生5名、新奨学生11名の合計16名です。昨年度より2名の減少になってしまいました。今回、受け入れ奨学生の数よりも世話クラブ希望のクラブ様の方が多くなり、当委員会としては大変ありがたい事でありました。しかし、その受け入れご希望が叶う事が出来なかったクラブ様には大変申し訳なく思っております。

米山記念奨学生の人数はロータリアンの皆様からのご寄付によって2年後の受け入れ奨学生の数が決まります。寄付額が多くなれば、受け入れ奨学生の数も増えて行きます。第2570地区のロータリー米山記念奨学委員会ではロータリアンの皆様からの善意ある普通寄付＋特別寄付でお一人15,000円～20,000円のご寄付をお願い致したく存じます。ロータリアン皆様からのご寄付金増額のため、委員会として会員の皆様に米山記念奨学委員会の意義と活動をもう一度理解して頂くために色々と活動に力を入れて行って参りたいと思います。一年間ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

---

# 2025-26年度のガバナー会では、 日本・ウクライナ間で国際共同委員会 (ICC:Intercountry Committee)の設立を目指しています。

---

人的交流と相互支援に合意した2国間で締結・設立するのが国際共同委員会です。  
その使命は、異文化間の協力と友情を通じて世界平和、国際理解、親善を育むことにあります。  
設立された場合、国際共同委員会に地区として加盟するには、地区内クラブの3分の2の賛成が必要になります。当地区だけではなく、日本においてはどこにも存在しない、馴染みのないプログラムであり、委員会ですので、国際共同委員会とは何か、そしてその日本・ウクライナ間での設立趣旨を以下ご説明いたします。

## ■ 設立趣旨

**今回の設立趣旨は、日本の地区全体でウクライナの精神的支柱になることにあります。**

2国間の国際奉仕活動は、従来は地区グローバル補助金を使い実施されてきました。

今、ウクライナを支援したいと考えた場合、従来方式でも当然可能です。しかし…

ロシア侵攻はいつか終わるでしょう。ただ、問題はその後です。ウクライナ国民が自国内で普通の健康的な生活を送れるようになるには、荒廃した国土、産業、経済の立て直しが必要です。それには10年、20年という長い月日が必要になるのではないのでしょうか。

我々にできることは、国家レベルの支援と比べれば、本当に小さなことかもしれませんが。ただ、ロータリーの支援は国家による支援より、現地のニーズに合わせたニッチな部分にも焦点を当てることが可能です。

**日本全体のロータリアンが国際共同委員会という形で、ウクライナの復興を真摯に考えているという姿勢が、ウクライナのロータリアンだけでなく、ウクライナ国民の精神的支えになるものと信じます。**混迷、混乱の中で一番必要なのは、精神的支柱ではないでしょうか。日本全体の地区が一緒に行動を起こす。そこに今回の国際共同委員会の設立の大きな意味があります。

また、将来的にはそれだけに留まりません。日本・ウクライナ間の人的交流と相互支援、異文化交流を深めることにより、世界平和の小さな一歩を踏み出すことが可能になります。

## ■ 国際共同委員会(ICC)とは

国際共同委員会は、2つ以上の国際地区または2つ以上の国(地域)との関係を促進し、さまざまな国の間での人的交流と相互支援、異文化交流を目的とし、国境、大陸、海を越えたネットワークを確立するための委員会です。

第2次世界大戦で荒廃したヨーロッパ地域を統一するために、1950年にフランスとドイツの間で、最初の国際共同委員会(ICC)が結成されました。これにより、境界と国境を越えた複数地区の活動の基盤が築かれました。国際ロータリーの枠組みを守りながら、かつ独自の支援活動を始めた地区のオリジナルの国際奉仕活動です。(詳しくは、ロータリー章典第3章21.020参照)

今では、国際共同委員会は、国家間の友情と交流を促進するとともに、国際奉仕や職業奉仕プロジェクト、国家間の理解を深めるための活動などを支援かつ協力するために、世界各地(現在119カ国)に設立されています。

しかし、国際共同委員会は、その活動および組織を、国際ロータリーに認められていますが、国際ロータリーの組織機関ではありません。

**ロータリーの国際戦略計画に適合するプログラムや取り組みを使用して、2か国間の人道的および平和的活動を開始する2か国間の合意(※)に基づき設立されます。**

※ 戦略的かつ長期的な関係を構築するための正式な覚書(MOU)を締結します。

## ■ 国際共同委員会(ICC)の使命・目的・活動

国際奉仕はロータリーの戦略的優先事項のひとつであり、国際理解、親善、平和を促進する奉仕の手段です。国際共同委員会は、国際ロータリーのプログラムと活動に多大な支援を提供します。**その活動は主に「平和の促進」の重点分野に沿っています。**

今日、世界中に600を超える国際共同委員会(ICC)がありますが、それぞれの委員会が国際ロータリーとロータリー財団のプログラムに大きな影響を及ぼしています。

**国際共同委員会(ICC)を結成して参加できるのは地区のみ**ですが、個々のロータリアン、そのパートナー、ローターアクター、ロータリークラブおよびローターアクトクラブもその地区の活動に参加することによって自身の役割を果たすことができます。

国際共同委員会のメンバーは、自国(地区)を代表する「平和の大使」となります。

## ■ 国際共同委員会(ICC)の使命

異文化認識を向上させ、多様性を取り込み、コミュニティの架け橋となる一方で、平和と国際理解を促進することです。

## ■ 国際共同委員会(ICC)の目的と活動

国際共同委員会の目的は、2つ以上の異なる国の人々を結び付け、ロータリアンとローターアクターが互いの国や家庭を訪問するよう奨励することで、国際理解と親善を高めることにあります。

**国際共同委員会に推奨される活動には、次のものが含まれますが、これらに限定されません。**互いの国や家庭を訪問し、地区やクラブが他国の地区やクラブと連携して次のことを行うよう奨励することで、友情やプロジェクトを強化できます。

**活動の前提：**以下の活動において、国際共同委員会は各国の地区ガバナーと連携して活動し、常に地区やクラブの顧問として活動します。

- ✓2か国間で友好交流を行う。
- ✓国境を越えたロータリアンとその家族の訪問を後援したり、都市間の会合や会議を手配する。
- ✓参加国間で姉妹クラブまたはツインクラブ・ネットワークを構築する。
- ✓異文化プロジェクトを実行し、協力しあう。
- ✓国際奉仕プロジェクトを実行する。
- ✓職業奉仕プロジェクトを実行する。
- ✓新しいクラブを後援するためのベスト・プラクティスを意見交換する。

## ■ 国際共同委員会(ICC)の国際協調の精神

国際共同委員会の活動は、ロータリアン、ローターアクター、国際ロータリーの活動範囲に準じます。そしてその活動は、私たちの組織としての国際協調および国際協力の精神を次のような行動で具現化します。

- ✓国際共同委員会は他国に仮想大使館(つまり事務局)を創設します。  
もし、ウクライナ第2232地区と活動する場合、当面の間、日本の国際共同委員会事務局はRID2520(岩手・宮城)に設置していただけます。日本語堪能なウクライナ人2名も加わります。(2名はこれから設立する衛星クラブの会員になる予定です。)
- ✓国際共同委員会は、異なる文化間の対話のためのフォーラムを提供します。
- ✓国際共同委員会は、地域社会に具体的な支援を提供します。
- ✓国際共同委員会は、ロータリアンとローターアクターが、自身の果たせる最も大きな役割のひとつとして、国際協調の精神をもった「平和の大使」となることを果たします。
- ✓国際共同委員会は、ロータリークラブとロータリアンが国際理解、親善、平和という奉仕の第4部門(国際奉仕)の責任を果たすための追加手段を提供します。

## ■ 国際共同委員会(ICC)の設立

国際共同委員会、2か国以上の国との間の国内または地域レベルの関係です。国内の国際共同委員会には、国内のすべての地区の合意が必要です。地域レベルの国際共同委員会には、関係に参加するすべての地区の合意が必要です。また、**国際共同委員会の設立は、国際ロータリーまたは地区やクラブの法的、財政的、その他の義務または責任を負うことを意味するものではありません。**(つまり、国際共同委員会設立を締結しても、地区は何にも拘束されることはありません)

- 国際共同委員会の設立に合意した地区ガバナーは、合意後(もしくは事前に)地区内クラブの3分の2の承認を取り付ける必要があります。
- 国際共同委員会の名前は、参加国または参加地区の名前から付けられます。
- 各国の関心のあるロータリアンは、**国際共同委員会を設立するための計画委員会を結成する**必要があります。

### ●計画委員会の責任:

- ✓各地区のガバナーから国際共同委員会の組織化の承認を得る。
- ✓計画会議を組織する(下から上に移動しました)
- ✓2か国関係を主導する国際共同委員会の委員長を選出する。
- ✓国際共同委員会参加者が実施する可能性のあるプロジェクトや活動を特定する。

2か国以上の国との間で国際共同委員会を設立する場合は、**それぞれの国と地区に結びついた国内(地区内)で、その国際共同委員会のセクションを立ち上げる必要があります。**両方(両国)の国際共同委員会は自主的に活動し、最低年1回は総会を開催しなくてはなりません(リオンラインでも可能)。両国際共同委員会セクションは、緊密な関係を維持し、役員名簿や地域の出版物を交換し、相手国で開催されるロータリーの関連イベントについて互いに情報を共有し、地域の雑誌に情報を伝えることが奨励されます。

## ■ 国際共同委員会(ICC)の役員の仕事と任期

国際共同委員会の役員や委員は、自国の組織を統括する規則に従う必要があります。委員長(チェアマン)、幹事、会計などの役員をおきます。

- ✓国際共同委員会の委員長は、国際共同委員会と国際ロータリーとの連絡役として機能し、毎年7月に年次報告書を国際ロータリーに提出します。
- ✓委員長は3年間の任期で、他のリーダーは毎年交代します。

## ■ 国際共同委員会(ICC)締結のメリット&デメリット

- 将来的に、地区内クラブがウクライナにグローバル補助金などを使い支援する際に、国際共同委員会を締結していると事前調査などに時間がかからないので、円滑に進みやすい。
- 国際共同委員会の対象地域は地中海地域も含まれます。将来的にパレスチナはじめ紛争地域で国際人道支援したい場合にも役立つ。

地区にはデメリットは特にないが、以下のような問題が委員会内の起こることは考えられます。

- 多くの地区が参加することにより、積極的な地区と消極的な地区に差がでてくる。
- 毎年ガバナーが交代することにより、その差がより大きくなる。

### 参考(国際共同委員会に対する国際ロータリー理事会方針)

「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」というロータリーの戦略的優先事項を支援するため、RI理事会は、国際共同委員会への参加を促進するため多くの方針変更を承認しました。

これらの変更には以下が含まれます。

- ロータリーの既存のリーダーシップ構造に合わせて国際共同委員会のガバナンス構造を合理化すること。
- 参加地区のガバナーの承認を得て、国レベルと地方レベルの両方で国際共同委員会の設立を認めること。
- 国際共同委員会の促進、既存の国際共同委員会のデータベースの維持、および新しい国際共同委員会の設立で支援を求める地区のガイドを行うリソースとしてのRI理事会の役割を明確にすること。
- 理事会は、既存の国際共同委員会の重要性を何度も認識し、世界のあらゆる地域で新しい委員会の設立を奨励してきました。
- 理事会は、クラブ国際奉仕委員会および国際大会、研究会、会議、会長祝賀会、地区会議および総会、会長エレクト研修セミナーを計画する者に対し、クラブ国際共同委員会のプログラムに国際共同委員会に関する情報を含めるよう勧告した。
- 国際共同委員会は、国際ロータリーに代わって行動したり、国際ロータリーに代わって行動する権限があると表明または暗示したりすることはできません。
- 国際共同委員会は、財政的、管理的、その他の面で自立していなければなりません。国際ロータリーからの財政的支援なしに機能しなくてはなりません。
- 国際共同委員会はその国の法律に違反する国で存在し、機能することはできません。

# (1) 2025-26年度 地区予算(案)

項目				金額				備考(内訳)
款	項	目	節	款	項	目	節	
収入の部				収入計	42,150,000			
			地区賦課金(前期)		21,075,000			14,050円×期首会員数(1500)
			地区賦課金(後期)		21,075,000			14,050円×期首会員数
			雑収入					
支出の部				支出計	42,150,000			
			外部分担金	小計	945,000			
			ロータリー連絡費			300,000		200円×期首会員数
			ロータリー文庫運営費			300,000		200円×期首会員数
			RUIYEM維持協力費			300,000		200円×期首会員数
			平和奨学生支援金			45,000		30円×期首会員数
			地区管理運営費	小計	27,765,000			
			地区大会運営費			11,250,000		7,500円×期首会員数
			地区研修・協議会運営費			1,500,000		1,000円×期首会員数
			エレクト活動費			1,500,000		例年同額
			地区事務所運営費			7,500,000		5,000円×期首会員数
			ガバナー月信発行費			2,000,000		1,600冊/期首、期末 デジタル配信
			会議費及び資料費			2,400,000		
			通信費			1,000,000		
			地区管理運営雑費			300,000		
			地区管理運営予備費			315,000		
			地区活動費	小計	13,440,000			
			地区ラーニング委員会			100,000		
			会議等活動費				100,000	
			RL委員会		400,000			
			会議等活動費				100,000	
			事業費				300,000	
			戦略計画委員会		100,000			
			会議等活動費				100,000	
			地区記念誌委員会		100,000			
			会議等活動費				100,000	
			国際大会推進委員会		200,000			
			会議等活動費				100,000	
			事業費				100,000	
			DEI委員会		100,000			
			会議等活動費				100,000	
			事業費				0	
			ローターアクト委員会		250,000			
			会議等活動費				50,000	
			事業費				200,000	
			会員増強委員会		350,000			
			会議等活動費				100,000	
			事業費				250,000	
			公共イメージ委員会		300,000			
			会議等活動費				100,000	
			事業費				200,000	
			職業奉仕委員会		300,000			
			会議等活動費				100,000	
			事業費				200,000	
			社会奉仕委員会		600,000			
			会議等活動費				100,000	
			事業費				500,000	
			国際奉仕委員会		680,000			
			会議等活動費				100,000	
			事業費				580,000	
			青少年プロジェクト委員会		4,410,000			
			インターアクト・ライラ小委員会				660,000	440円×期首会員数
			青少年活動費				3,000,000	2,000円×期首会員数
			青少年交換委員会				750,000	
			ロータリー財団委員会		900,000			
			出版物購入費				100,000	
			会合費・セミナー費				600,000	
			学友会活動費				100,000	
			奨学候補生費用				100,000	
			ロータリー米山記念奨学委員会		450,000			
			会議費・セミナー費				150,000	
			推進委員会				150,000	
			奨学学友委員会				150,000	
			人道的支援広報費			400,000		
			地域活性化広報費			200,000		
			危機管理委員会			100,000		
			RI会長メッセージ推進費			500,000		
			規定審議会繰入金			200,000		
			ロータリー希望の風袋学会			1,000,000		
			地区記念誌繰入金			200,000		
			合同役員会議費			1,000,000		
			姉妹地区交流費			200,000		
			地区活動雑費			200,000		
			地区活動予備費			200,000		
			表引残高	0	---	---	---	

# (1) 2025-26年度 1名当り半期地区賦課金(案)

(単位:円)

		金 額		
項	目	款	項	目
合 計		14,050.0		
外部分担金			315.0	
	ロータリー連絡費			100.0
	ロータリー文庫運営費			100.0
	RIJYEM維持協力費			100.0
	平和奨学生支援金			15.0
地区管理運営費			9,255.0	
	地区大会運営費			3,750.0
	地区研修・協議会運営費			500.0
	地区事務所運営費			2,500.0
	その他地区管理運営費			2,505.0
地区活動費			4,480.0	
	アクト・ライラ委員会費			220.0
	青少年活動費			1,000.0
	その他委員会活動費			1,860.0
	その他地区活動費			1,400.0

## (2) 2026-27年度

「地区研修・協議会」ホストクラブについて

坂戸さつき RC

### (3) 地区のグループ再編成について

地区戦略計画委員会では、クラブの活性化について様々議論を行ってまいりました。その一つとして、地区リーダーシップ・プランに基づきクラブと地区を結びつけるガバナー補佐の役割が重要であるとの判断から、地区のグループを9つに再編成することを提案いたします。皆様のご理解をお願いいたします。

#### 1. 理由

- ① ロータリー章典に基づくガバナー補佐の数。  
(4～8クラブを各ガバナー補佐に割り当てるよう推奨されている)  
「ロータリー章典 2024年10月 17.030. 地区リーダーシップ・プラン」より
- ② ガバナー補佐が細かく各クラブに目配りができることで、ガバナー補佐とクラブリーダーが効果的に協力することができ、地区とクラブの意思疎通が図れる。
- ③ 地区リーダーの掘り起こしを進めることができる。

#### 2. 新グループ

<b>第1グループ南(170人)</b>	<b>第1グループ北(150人)</b>
・川越    ・川越小江戸    ・川越西 ・川越中央	・東松山    ・小川    ・坂戸 ・越生毛呂    ・鶴ヶ島    ・坂戸さつき ・東松山むさし
<b>第2グループ (150人)</b>	/
・朝霞    ・志木    ・富士見 ・新座    ・和光    ・新座こぶし	
<b>第3グループ西(197人)</b>	<b>第3グループ東(171人)</b>
・入間    ・飯能    ・日高 ・新狭山    ・入間南    ・狭山中央	・所沢    ・新所沢    ・所沢西 ・所沢東
<b>第4グループ東(174人)</b>	<b>第4グループ西(203人)</b>
・深谷    ・岡部    ・深谷東 ・深谷ノース	・本庄    ・秩父    ・寄居 ・児玉    ・皆野長瀬
<b>第5グループ西(164人)</b>	<b>第5グループ東(173人)</b>
・熊谷    ・熊谷西    ・熊谷龍原 ・熊谷南	・行田    ・羽生    ・加須 ・行田さくら    ・吹上

2025.1.末の人数

#### 3. 実施時期

- ・2026-2027年度(原島年度)より実施する。
- ・新しい編成に当たっての準備、諸課題については、2025-2026年度(坂口年度)に検討し取計らっていく。

# 2025-26年度 送金カレンダー

区分	項目	年額/1人	摘要	納入方法			納入送金先	報告先		
				期区分	金額	期日				
国際 ロータリー 関係	規定審議会費	\$1.0	7月のみ		\$1×会員数	2025.7.1	三井住友銀行 新宿通支店 (普通) 6733244 国際ロータリー日本 事務局 TEL 03-5439-5803 FAX 03-5439-0405	[原本] 国際ロータリー 日本事務局 経理室		
	R 人頭 分担金	2025.7.1現在会員	\$82.00	半期ごと \$41	上期	\$41×会員数			2025.7.1	
		2026.1.1現在会員			下期	\$41×会員数			2026.1.1	
	比例人頭分担金	1ヵ月につき 12分の1	※枠外参照	請求に基づき 半期ごとにまとめて		2025.7.1 2026.1.1				
	RI機関紙 The Rotarian	\$24	標準定款 第14条を 参照	上期	\$12×購買部数	2025.7.1				
				下期	\$12×購買部数	2026.1.1				
	R 財団 寄付	年次基金 <個人寄付>	\$100以上	一人\$1,000以上をポールハリスフェ ロー、\$10,000以上をメジャードナー と云う。					随時	三井住友銀行 赤羽支店 (普通)3978101 公益財団法人 ロータリー日本財団
		年次基金 <クラブ寄付>	\$50以上	半期ごと \$25以上	上期	\$25以上×会員数			7月中	
		ポリオプラス <クラブ寄付>	\$30以上	半期ごと \$15以上	上期	\$15以上×会員数			7月中	
		恒久基金 <クラブ寄付>	\$30以上	半期ごと \$15以上	上期	\$15以上×会員数			7月中	
	ベネファクター <個人寄付>	恒久基金へ\$1,000以上を寄付した人。 遺贈の受取人をロータリー財団と指定した人。				随時				
友 関係	ロータリーの友	¥3,300×会員数 ※消費税の変更に伴い 変更有り 中途入会者は 月割1部 ¥250+消費税		上期	¥1,650 課税により変 更有り	2025.7.1	三井住友銀行 浜松町支店 (普通) 7450015 一般社団法人ロータ リーの友事務所	(申込先) ロータリーの友 事務所		
R 米山 記念 奨学会	普通寄付金	目標1人 増額の場合 は¥1,000単 位で		上期	¥2,000以上×会員数	2025.7.1	三井住友銀行 京橋支店 (普通) 0920373 (公財) ロータリー 米山記念奨学会	[原本] (公財)ロータリー 米山記念奨学会		
	特別寄付金	特別寄付は、個人・法人・クラブからの、普通寄付金以 外の任意寄付。金額に決まりはなく、ロータリアン以外 の方からもお受けします。<米山豆辞典参照>				随時				
地 区 関係	地区賦課金	¥28,100		上期	¥14,050×会員数	2025.7.1	埼玉りそな銀行本川越支店 (普通) 4427129 国際ロータリー第2570地区	[送金明細] 地区事務所		

## 金融機関電話番号

三井住友銀行 本店 03-3501-1112 三井住友銀行 新宿通支店 03-3352-4131  
 三井住友銀行 京橋支店 03-3561-3191 三井住友銀行 赤羽支店 03-3901-3104  
 三井住友銀行 浜松町支店 03-3436-2781 埼玉りそな銀行本川越支店 049-222-3771

※比例分担金は月割でお支払い頂きますが、途中入会の方が居る場合にクラブ側で計算して先払いする事は避け、  
 入会報告のみにして下さい。後日RI本部から請求が来ますので、それに従って送金して下さい。



# 2025-26年度 地区カレンダー(予定)

2025年4月10日版

日	曜	7月	日	曜	8月	日	曜	9月	日	曜	10月	日	曜	11月	日	曜	12月	日	曜	1月	日	曜	2月	日	曜	3月	日	曜	4月	日	曜	5月	日	曜	6月	
1	火	ガバナー会	1	金	熊谷	1	月		1	水		1	土		1	月		1	木	元日	1	日		1	日		1	水		1	金		1	月		
2	水		2	土	財団第1回村エンテション	2	火		2	木		2	日	財団 End Polio Now	2	火		2	金		2	月		2	月		2	木		2	土		2	火		
3	木		3	日		3	水		3	金		3	月		3	水		3	土		3	火		3	火		3	金		3	日	憲法記念日	3	水		
4	金		4	月		4	木		4	土		4	火		4	木		4	日		4	水		4	水		4	土		4	月	みどりの日	4	木		
5	土	年度初め地区役員合同会議	5	火		5	金		5	日		5	水		5	金		5	月		5	木		5	木		5	日	新狭山オリエンテーション第1回カウンセラー会議	5	火	こどもの日	5	金	青少年交換全国大会	
6	日	米山記念奨学委員会セミナー	6	水		6	土	財団 ローターリー財団セミナー	6	月	地区ゴルフ	6	木		6	土		6	火		6	金		6	金		6	月		6	水		6	土	財団地区役員会議	
7	月		7	木	入間	7	日	社会奉仕委員会第1回セミナー	7	火	羽生	7	金		7	日		7	水		7	土	財団第3回村エンテション・2770地区合同	7	土		7	火		7	木		7	日		
8	火		8	金	新狭山・狭山中央	8	月		8	水	熊谷西、熊谷籍原熊谷南(夜)	8	土		8	月		8	木		8	日	青少年交換オリエンテーション	8	日		8	水		8	金		8	月	青少年交換全国大会	
9	水		9	土		9	火	吹上	9	木		9	日		9	火		9	金		9	月		9	月		9	木		9	土	財団第1次選考試験	9	火		
10	木		10	日		10	水	新座こぶし	10	金		10	月		10	水		10	土		10	火		10	火		10	金		10	日		10	水		
11	金		11	月	山の日	11	木	東松山、小川、東松山むさし(夜間)	11	土		11	火		11	木		11	日		11	水	建国記念の日	11	水		11	土	財団第4回村エンテション	11	月	財団第1次合格通知発表	11	木		
12	土	財団地区役員会議	12	火	振替休日	12	金		12	日		12	水		12	金		12	月		12	木		12	木		12	日	青少年交換オリエンテーション	12	火		12	金		
13	日	カウンセラー会議(青少年)	13	水		13	土		13	月	スポーツの日	13	木		13	土		13	火		13	金		13	金		13	月		13	水		13	土	国際大会(台湾)	
14	月		14	木		14	日	新会員研修セミナー(4G、5G)	14	火	所沢 新所沢 所沢西	14	金		14	日	青少年交換クリスマスP	14	水		14	土		14	土		14	火		14	木		14	日		
15	火	行田さくら	15	金		15	月	青少年交換帰国報告会	15	水		15	土	地区大会(2770埼玉南東)	15	月		15	木		15	日		15	日	1G IM	15	水		15	金		15	月		
16	水		16	土		16	火	朝霞	16	木	新座	16	日	地区大会(2770埼玉南東)	16	火		16	金		16	月		16	月		16	木		16	土	財団第2次選考試験・選考会議	16	火		
17	木		17	日		17	水		17	金		17	月	ロータリー研究会	17	水		17	土	次年度米山記念奨学生面接選考会(予定)	17	火		17	火		17	金	クラブ活性化セミナー	17	日		17	水		
18	金		18	月		18	木	川越小江戸、川越西	18	土	財団地区役員会議第2回村エンテション	18	火	ロータリー研究会	18	木		18	日		18	水		18	水		18	土	クラブ活性化セミナー	18	月	財団第2次合格発表	18	木		
19	土	国際奉仕セミナー	19	火	入間南	19	金	富士見	19	日	青少年交換オリエンテーション	19	水	ロータリー研究会オリエンテーション(青少年)	19	金		19	月	青少年村エンテション	19	木		19	木		19	日	地区研修・協議会	19	火		19	金		
20	日		20	水	鶴ヶ島	20	土	新会員研修セミナー(1G~3G)	20	月	和光	20	木	ロータリー研究会	20	土	RLIパートⅢ	20	火		20	金		20	金	米山記念奨学生終了式及び歓迎宴会	20	月		20	水		20	土	財団770村エンテション・歓迎宴会	
21	月	海の日	21	木	坂戸	21	日	米山梅吉記念館研修旅行(予定)	21	火	越生毛呂	21	金		21	日	第2回カウンセラー会議及びクリスマス会(米山)	21	水		21	土	4G IM	21	土		21	火		21	木		21	日	青少年交換閉講式	
22	火		22	金		22	月		22	水	加須	22	土	地区大会(2570埼玉西北)	22	月		22	木		22	日		22	日		22	水		22	金		22	月		
23	水	寄居	23	土		23	火	外国人によるスピーチコンテスト(鶴ヶ島RC)	23	木		23	日	地区大会(2570埼玉西北)	23	火		23	金		23	月	5G IM	23	月		23	木		23	土		23	火		
24	木	行田	24	日	青少年交換閉講式	24	水		24	金		24	月	振替休日	24	水		24	土		24	火		24	火		24	金		24	日		24	水		
25	金	深谷、岡部、深谷東、深谷ノース	25	月		25	木	所沢東(夜)	25	土	RLIパートⅡ	25	火		25	木		25	日		25	水	3G IM	25	水		25	土	2G IM	25	月		25	木		
26	土		26	火		26	金		26	日	ポリオ撲滅スピーチコンテスト(社会)/熊谷市外国人スピーチコンテスト	26	水		26	金		26	月		26	木		26	木	青少年交換スキーキャンプ	26	日		26	火		26	金		
27	日	青少年交換選考試験	27	水	飯能、日高	27	土	RLIパートⅠ	27	月	児玉	27	木		27	土		27	火		27	金		27	金		27	月		27	水		27	土	年度末地区役員合同会議	
28	月	川越中央(夜)	28	木		28	日	米山梅吉記念館研修旅行(予定)	28	火	川越	28	金		28	日		28	水		28	土	財団補助金管理セミナー	28	土		28	火		28	木		28	日		
29	火		29	金	坂戸さつき(夜)	29	月		29	水		29	土		29	月		29	木		29	日		29	日		29	水	昭和の日	29	金		29	月		
30	水	志木	30	土		30	火	秩父、皆野長瀬	30	木		30	日		30	火		30	金		30	月		30	月		30	木		30	土		30	火		
31	木	本庄	31	日					31	金					31	水								31	火											

2025-26年度 国際ロータリー第2570地区 組織図

<b>国際0-列(RI)理事</b> 水野 功 (2750地区・東京飛火野)	<b>国際ロータリー(RI)会長</b> マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ (サントアンドレ)			
<b>副ガバナー</b> 相原 茂吉 (川越)	<b>地区ラーニングファシリテーター</b> 水村 雅啓 (入間)	<b>ガバナー</b> 坂口 孝 (川越)	<b>ガバナーエレクト</b> 原島 生慈 (秩父)	<b>ガバナーノミニー</b> ( )

<b>公共イメージコーディネーター補佐(ARPIC)</b> 五十幡 和彦 (行田さくら)
<b>(公社)ロータリー米山記念奨学会</b> 理事 細井 保雄 (行田さくら) 評議委員 前嶋 修身 (熊谷)
<b>RLI日本支部</b> 地区代表委員 坂本 元彦 (富士見) 地区ファシリテーター 相原 茂吉 (川越)
<b>RIJYEM(一社)日本青少年交換多地区合同機構</b> 地区代表社員 相原 茂吉 (川越)
<b>ポール・ハリス・ソサエティ</b> 地区コーディネーター 高柳 育行 (本庄)
<b>地区恒久基金大口寄付小委員会</b> 委員長 細井 保雄 (行田さくら)
<b>ロータリーの友</b> 地区代表委員 野満 守 (川越)
<b>ロータリー文庫運営委員会</b> 相談役 茂木 正 (本庄)
<b>R東日本大震災青少年支援連絡協議会 (ロータリー希望の風奨学金)</b> 顧問 坂本 元彦 (富士見) 副委員長 矢島 淳一 (本庄) 委員 野口 健吉 (東松山むさし) 委員 西川 和人 (志木) 委員 金井 福則 (本庄)

<b>諮問委員会</b> 委員 今泉 清詞 (川越) 委員 加藤 玄静 (本庄) 委員 立原 雅夫 (川越) 委員 鈴木 秀憲 (吹上) 委員 中井 眞一郎 (所沢) 委員 坂本 元彦 (富士見) 委員 高柳 育行 (本庄) 委員 前嶋 修身 (熊谷) 委員 細井 保雄 (行田さくら) 委員 茂木 正 (本庄) 委員 相原 茂吉 (川越) 委員 水村 雅啓 (入間) 委員 高丹 秀篤 (深谷) 委員 五十幡和彦 (行田さくら)
<b>ガバナー指名委員会</b> 委員長 相原 茂吉 (川越) 委員 茂木 正 (本庄) 委員 水村 雅啓 (入間) 委員 高丹 秀篤 (深谷) 委員 五十幡和彦 (行田さくら)
<b>地区記念誌委員会</b> 委員長 加藤 玄静 (本庄) 副委員長 高柳 育行 (本庄) 副委員長 水村 雅啓 (入間) 第1G委員 坂口 孝 (川越) 第2G委員 戸高 健司 (新座こぶし) 第3G委員 西澤 長次 (新狭山) 第4G委員 原島 生慈 (秩父) 第5G委員 五十幡和彦 (行田さくら)

<b>地区ラーニング委員会</b> 委員長 水村 雅啓 (入間) 副委員長 小高 章 (川越) 委員 田村 宏 (川越西) 委員 戸高 健司 (新座こぶし) 委員 山本 庄一 (川越小江戸)
<b>RLI委員会</b> 委員長 新井 啓介 (行田さくら) 副委員長 太田 雅孝 (秩父) 委員 日向 貴一 (所沢) 委員 神田 茂 (東松山むさし) 委員 安藤 治一郎 (寄居) 委員 下妻 慶悟 (深谷) 委員 高橋 豊 (本庄) 委員 坂田 光司 (深谷ノース) 委員 島村 拓史 (川越) 委員 矢島 淳一 (本庄) 委員 新島 修一 (深谷ノース) 委員 飯塚 秀司 (行田さくら)
<b>DEI推進委員会</b> 委員長 八木 拓也 (川越) 副委員長 永島 明 (川越) 委員 町田 明美 (川越) 委員 久保田 徹 (川越西) 委員 木村 武志 (鶴ヶ島) 委員 山崎 一吉 (朝霞) 委員 鈴木敬一郎 (行田さくら)
<b>ロータリー財団監査委員会</b> 委員長 西川 孝博 (川越) 委員 西澤 克己 (鶴ヶ島) 委員 近藤 武弘 (川越)

<b>地区行動計画推進リーダー</b> 高柳 育行 (本庄)
<b>地区戦略計画委員会</b> 委員長 五十幡和彦 (行田さくら) 委員 相原 茂吉 (川越) 委員 高丹 秀篤 (深谷) 委員 原島 生慈 (秩父) 委員 ガバナーノミニー 委員 田島 博夫 (行田さくら) 委員 栗原 雄一 (川越) 委員 太田 雅孝 (秩父)
<b>危機管理委員会</b> 委員長 高柳 育行 (本庄) 委員 原島 生慈 (秩父) 委員 高橋 貴子 (行田さくら) 委員 細瀬 克則 (入間) 委員 一柳 達朗 (入間) 委員 京野 弘一 (川越) 委員 温井 康宏 (本庄) 委員 西浦 建貴 (志木) 委員 弁護士 堀越 孝 (川越) 委員 メディア 廣瀬 哲也 (川越)
<b>ロータリーアクト委員会</b> 委員長 京野 弘一 (川越) 委員 新井 正健 (坂戸) 委員 宮本 伸子 (行田さくら) 委員 高橋 哲彦 (川越) 委員 武藤 桃亮 (川越RAC) 委員 後藤 悠介 (城西大学RAC)

<b>ガバナー補佐/クラブ管理・運営担当</b> 第1G補佐 齊藤 大祐 (鶴ヶ島) 第2G補佐 大畑 茂 (朝霞) 第3G補佐 高橋 和男 (所沢西) 第4G補佐 橋本 和行 (岡部) 第5G補佐 渡邊 藤男 (熊谷南)
<b>国際大会推進委員会</b> 委員長 茂木 正 (本庄) 副委員長 戸口 真也 (川越) 委員 堀田 博明 (朝霞) 委員 鳥居由美子 (所沢) 委員 高畑 泰寿 (秩父) 委員 植竹 知子 (熊谷南)
<b>地区大会実行委員会</b> 地区大会会長 今泉 博 (川越) 実行委員長 山田 哲也 (川越) 地区大会幹事 島村 拓史 (川越)
<b>地区大会 コ ホストクラブ</b> 川越小江戸ロータリークラブ 川越西ロータリークラブ 川越中央ロータリークラブ
<b>立法案検討委員会</b> 委員長 相原 茂吉 (川越) 副委員長 水村 雅啓 (入間) 委員 坂本 元彦 (富士見) 委員 五十幡和彦 (行田さくら)
<b>地区研修協議会ホストクラブ</b> 坂戸さつき

<b>地区幹事</b> 栗原 雄一 (川越)
<b>地区副幹事</b> 山崎 共子 (川越) 京野 弘一 (川越) 佐藤 道晴 (川越) 山田 哲也 (川越) 近藤 武弘 (川越) 小林 勇次郎 (川越) 八木 拓也 (川越) 高橋 哲彦 (川越) 島村 拓史 (川越) 菊池 俊介 (川越) 小川 修一郎 (川越) 沢田 通 (川越) 齊藤 智 (川越) 太田 雅孝 (秩父)
<b>ガバナー月信編集委員会</b> 委員長 菊池 俊介 (川越) 副委員長 荻原 之彦 (川越) 委員 佐藤 道晴 (川越) 委員 八木 拓也 (川越) 委員 細田 智也 (川越)
<b>財務委員会</b> 委員長 田島 高久 (深谷) 委員 田島 博夫 (行田さくら) 会計 栗原 雄一 (川越) 監査 前嶋 修身 (熊谷)
<b>歴代地区幹事会</b> 会長 木島 一也 (熊谷)

<b>会員増強委員会</b> 担当諮問委員 五十幡和彦 (行田さくら) 委員長 山田 哲也 (川越) 副委員長 鈴木 早苗 (和光) 委員 都築 敏夫 (飯能) 委員 大村 相基 (志木) 委員 塚田 貴幸 (熊谷龍原) 委員 日鼻 靖 (富士見) 委員 神山 威仁 (志木) 委員 小林勇次郎 (川越) 委員 大谷 龍之 (小江戸) 委員 早崎 敬 (行田さくら) 担当地区副幹事 小林勇次郎 (川越)
--

<b>公共イメージ委員会</b> 担当諮問委員 高丹 秀篤 (深谷) 委員長 須田 礼子 (本庄) 副委員長 坂田 光司 (深谷ノース) 副委員長 鈴木 聡 (熊谷南) 委員 内山雄二郎 (志木) 委員 堀越 徹也 (本庄) 委員 三木由紀郎 (所沢東) 委員 服部 誠亮 (飯能) 担当地区副幹事 近藤武弘 (川越)
--

<b>職業奉仕委員会</b> 担当諮問委員 水村 雅啓 (入間) 委員長 島田 敏郎 (富士見) 副委員長 林 好久 (東松山むさし) 委員 前島 宏之 (飯能) 委員 谷山 誠 (加須) 委員 今井慶一郎 (深谷) 委員 市川 大 (鶴ヶ島) 委員 梅沢 雅利 (所沢東) 委員 松岡 昌宏 (新座) 担当地区副幹事 齊藤 智 (川越)
---

<b>社会奉仕委員会</b> 担当諮問委員 相原 茂吉 (川越) 統轄委員長 金井 福則 (本庄)
<b>地域社会奉仕委員会</b> 委員長 五十嵐敦子 (本庄) 副委員長 小林 弘満 (深谷東) 委員 櫻澤 真琴 (本庄) 委員 登坂 一彦 (鶴ヶ島) 委員 西澤 正夫 (入間南) 委員 長谷川京子 (本庄)
<b>子ども家庭委員会</b> 委員長 下境 将寛 (深谷) 副委員長 小松 和弘 (行田) 委員 大谷まり子 (深谷) 委員 晝間 和弘 (入間) 担当地区副幹事 小川修一郎 (川越)

<b>国際奉仕委員会</b> 担当諮問委員 茂木 正 (本庄) 統轄委員長 正田 康高 (深谷東)
<b>グローバルサポート委員会</b> 委員長 梅澤 茂 (深谷ノース) 副委員長 田中 哲夫 (熊谷) 委員 鯨井 隆行 (熊谷) 委員 山川 大輔 (深谷ノース) 委員 足立 修平 (深谷) 委員 飯塚 昇 (深谷東)
<b>グローバル交流委員会</b> 委員長 中川 潤 (新所沢) 副委員長 新井 清貴 (熊谷) 副委員長 金子 章 (本庄) 委員 森田 淳一 (寄居) 委員 高橋 信介 (深谷東) 委員 山屋 貴裕 (熊谷) 委員 山下 茂 (東松山むさし) 委員 笠原 康男 (熊谷龍原) 担当地区副幹事 沢田 通 (川越)

<b>青少年プログラム委員会</b> 担当諮問委員 細井 保雄 (行田さくら) 統轄委員長 高橋 貴子 (行田さくら)
<b>アクト・ライラ委員会</b> 委員長 西浦 建貴 (志木) 副委員長 中島 洋志 (所沢東) 委員 鴨下 秀幸 (志木) 委員 後藤 賢治 (入間) 委員 新倉 良之 (所沢東) 委員 近藤 勝美 (入間南) 委員 大嶋 俊久 (深谷)
<b>青少年交換委員会</b> 委員長 温井 康宏 (本庄) 副委員長 押野見孝道 (深谷) 副委員長 清水 洋行 (入間南) 委員 竹内 英明 (富士見) 委員 小島 賢大 (本庄) 委員 川野 建人 (行田さくら) 委員 友田 雅明 (坂戸さつき) 委員 鯨井美知子 (東松山むさし) 委員 原島 生慈 (秩父) 担当地区副幹事 高橋哲彦 (川越)

<b>ロータリー財団委員会</b> 担当諮問委員 前嶋 修身 (熊谷) 統轄委員長 細瀬 克則 (入間) 統轄副委員長 茂木 聡 (本庄)
<b>ポリオプラス委員会</b> 委員長 安藤治一郎 (寄居) 副委員長 寺田 泰典 (深谷) 委員 市川 治子 (越生毛呂) 委員 新井 祐司 (川越小江戸)
<b>資金推進委員会</b> 委員長 中嶋理恵子 (羽生) 副委員長 有岡 俊高 (川越中央) 委員 熊谷 俊子 (深谷) 委員 清水 保人 (熊谷南)
<b>補助金委員会</b> 委員長 今泉 学之 (秩父) 副委員長 満田 義信 (熊谷) 委員 鳥居由美子 (所沢) 委員 關正 良昭 (本庄)
<b>財団資金管理委員会</b> 委員長 大崎 光二 (飯能) 副委員長 白幡 英悟 (入間) 委員 荒木 和之 (朝霞) 委員 日向美津江 (熊谷)
<b>奨学学友・平和フェロー委員会</b> 委員長 島村 拓史 (川越) 副委員長 遠藤 貴博 (志木) 委員 横山 明美 (鶴ヶ島) 委員 山岸 泰輔 (行田さくら) 担当地区副幹事 島村 拓史 (川越)

<b>ロータリー米山記念奨学会</b> 担当諮問委員 高柳 育行 (本庄) 統轄委員長 一柳 達朗 (入間)
<b>推進委員会</b> 委員長 山崎 共子 (川越) 副委員長 白井 威 (日高) 委員 新井 裕喜 (羽生) 委員 向井 宏倫 (鶴ヶ島) 委員 中村 重継 (行田さくら)
<b>学友委員会</b> 委員長 田久保真理子 (熊谷) 副委員長 赤坂 匠康 (寄居) 委員 東 美栄 (狭山中央) 委員 武正 進介 (本庄) 委員 秋山 恵一 (熊谷) 担当地区副幹事 山崎 共子 (川越)



# 2570地区 クラブ数・会員数推移(1993-2008)

	1993'94 今泉清司	1994'95 田中一郎	1995'96 金子千博	1996'97 大庭清次	1997'98 寺山栄一	1998'99 本塚文雄	1999'00 橋澤定彦	2000'01 高橋福八	2001'02 小池英輔	2002'03 牛窪栄吉	2003'04 高山 孝	2004'05 橋田弥寿男	2005'06 野中弘之	2006'07 鈴木勲二	2007'08 石川嘉彦	2008'09 真下和男																						
1	豊谷	118	豊谷	114	豊谷	112	豊谷	102	豊谷	98	本庄	101	豊谷	98	本庄	105	川越	88	川越	84	豊谷	81	川越	85	豊谷	88	豊谷	92										
2	所沢	102	川越	99	川越	100	川越	94	所沢	95	川越	94	本庄	97	川越	92	本庄	87	豊谷	84	川越	79	豊谷	84	川越	80	川越	85										
3	川越	98	深谷	96	所沢	96	所沢	93	深谷	94	所沢	91	深谷	95	豊谷	88	豊谷	85	本庄	77	本庄	73	本庄	76	本庄	72	所沢	69										
4	深谷	94	所沢	95	本庄	92	深谷	93	川越	92	深谷	90	川越	83	所沢	82	所沢	80	所沢	75	深谷東	72	行田	73	行田	72	深谷東	68	深谷東	70	本庄	69						
5	本庄	92	本庄	90	深谷	91	本庄	88	本庄	90	本庄	88	所沢	82	深谷	80	深谷	79	深谷	74	深谷	71	所沢	69	深谷東	68	所沢	64	所沢	64	深谷東	67						
6	所沢西	83	所沢西	85	所沢西	80	東松山	77	飯能	72	飯能	72	深谷東	74	深谷東	71	深谷東	65	飯能	60	深谷東	72	所沢	70	深谷	65	所沢	65	行田	63	行田	63	行田	63				
7	東松山	79	東松山	70	東松山	79	飯能	72	東松山	68	飯能	69	飯能	67	飯戸	60	深谷東	60	行田	68	行田	69	深谷東	65	深谷	63	深谷	62	飯能	59	深谷	62	飯能	59	深谷	62		
8	飯戸	68	飯能	68	豊谷東	71	豊谷東	70	深谷東	68	飯戸	68	飯戸	63	飯能	59	行田	60	飯能	59	飯能	55	飯能	57	飯能	54	飯能	54	深谷	58	飯能	61	飯能	61	飯能	61		
9	豊谷東	68	豊谷東	68	飯戸	69	飯戸	68	行田	67	所沢西	68	行田	63	行田	59	飯戸	59	飯戸	58	所沢西	53	所沢西	51	所沢西	49	秩父	52	秩父	54	秩父	55	秩父	55	秩父	55		
10	飯能	64	飯戸	65	飯能	67	所沢西	68	飯戸	66	入間	65	入間	62	入間	57	入間	56	所沢西	54	飯戸	52	秩父	49	秩父	49	所沢西	47	志木	48	志木	48	志木	48	志木	48		
11	深谷東	63	行田	65	行田	65	行田	67	所沢西	65	行田	65	羽生	59	富士見	55	所沢西	58	富士見	52	秩父	49	富士見	47	富士見	47	志木	48	所沢西	47	富士見	46	富士見	46	富士見	46		
12	行田	63	深谷東	64	深谷東	63	深谷東	66	羽生	65	所沢西	63	秩父	57	秩父	55	富士見	55	さくら	51	富士見	48	入間	47	さくら	47	富士見	45	入間	45	所沢西	44	所沢西	44	所沢西	44		
13	小川	62	入間	63	羽生	63	羽生	64	入間	64	東松山	58	秩父	57	羽生	54	入間	50	さくら	48	さくら	47	志木	46	入間	45	富士見	45	入間	45	入間	43	入間	43	入間	43		
14	所沢東	62	羽生	63	寄居	61	入間	63	秩父	59	秩父	58	豊谷東	55	所沢西	53	羽生	52	秩父	50	朝霞	47	飯戸	46	寄居	46	ノース	44	ノース	43	さくら	41	さくら	41	さくら	41		
15	羽生	62	所沢東	62	新所沢	60	新所沢	61	豊谷東	58	富士見	57	富士見	54	寄居	52	秩父	51	朝霞	48	入間	47	志木	46	入間	45	飯戸	41	羽生	42	所沢中	40	所沢中	40	所沢中	40		
16	入間	60	小川	59	秩父	60	秩父	61	新所沢	57	豊谷東	57	新所沢	53	豊谷東	52	寄居	49	志木	46	志木	45	朝霞	44	秩山中	43	所沢中	41	所沢中	41	羽生	40	羽生	40				
17	新所沢	60	新所沢	59	入間	58	寄居	58	所沢東	57	さくら	56	東松山	52	豊谷南	51	さくら	49	豊谷東	48	所沢中	45	秩山中	43	東松山	41	東松山	40	秩山中	40	ノース	39	ノース	39	ノース	39		
18	川越南	59	秩父	58	小川	57	所沢東	57	富士見	56	寄居	55	朝霞	51	朝霞	48	豊谷南	48	所沢中	45	秩山中	43	所沢中	42	朝霞	41	朝霞	40	さくら	40	東松山	38	東松山	38	東松山	38		
19	入間南	58	入間南	57	入間南	57	小川	56	朝霞	53	新所沢	54	寄居	50	志木	48	朝霞	47	豊谷南	45	寄居	43	寄居	42	ノース	41	新産	40	加須	39	所沢東	38	所沢東	38	所沢東	38		
20	朝霞	55	寄居	57	所沢東	55	朝霞	54	寄居	53	所沢東	53	さくら	50	秩山	48	志木	48	寄居	43	豊谷南	43	豊谷東	42	豊谷東	41	秩山中	40	新産	38	寄居	38	寄居	38	寄居	38		
21	秩父	55	富士見	56	朝霞	54	富士見	53	さくら	53	朝霞	52	志木	49	所沢東	47	秩山	45	羽生	43	豊谷西	42	ノース	41	飯戸	40	寄居	40	飯戸	37	加須	38	加須	38	加須	38		
22	富士見	54	豊谷西	54	富士見	51	志木	51	志木	51	加須	51	秩山	47	さくら	47	所沢東	45	豊谷西	43	豊谷東	42	所沢東	40	所沢中	40	さくら	40	所沢東	37	新所沢	37	新所沢	37	新所沢	37		
23	豊谷西	54	朝霞	53	さくら	50	入間南	51	新秩山	51	志木	48	加須	47	所沢中	46	所沢中	45	新所沢	42	所沢東	41	豊谷西	40	豊谷南	40	豊谷東	39	新所沢	36	秩山中	37	秩山中	37	秩山中	37		
24	寄居	52	加須	52	加須	49	さくら	51	秩山	48	豊谷南	47	新所沢	45	豊谷西	45	新産	41	東松山	40	豊谷南	40	新産	39	新所沢	39	入間南	36	新所沢	36	入間南	36	新所沢	36	新所沢	36		
25	加須	52	さくら	53	川越南	48	新秩山	50	小川	50	新秩山	48	新秩山	48	加須	45	新所沢	44	秩山	41	新産	40	東松山	39	所沢東	39	所沢東	38	寄居	36	入間南	35	入間南	35	入間南	35	入間南	35
26	和光	51	川越西	50	志木	48	秩山中	48	所沢中	50	所沢中	48	所沢中	46	豊谷西	44	新産	43	所沢東	41	秩山	40	新産	39	豊谷西	38	羽生	38	豊谷東	36	朝霞	35	朝霞	35	朝霞	35		
27	さくら	50	鯉ヶ島	50	川越西	47	川越西	47	豊谷西	49	豊谷南	48	豊谷西	46	入間南	43	東松山	42	加須	41	新所沢	38	羽生	37	入間南	36	豊谷南	36	東松山	35	むさし	34	むさし	34	むさし	34		
28	川越西	48	和光	50	所沢中	47	所沢中	47	上福岡	47	入間南	46	所沢東	45	新秩山	42	新秩山	42	秩山中	40	ノース	38	新所沢	35	羽生	35	入間南	37	川越中	35	豊谷東	34	豊谷東	34	豊谷東	34		
29	鯉ヶ島	48	川越南	47	秩山中	47	児玉	47	入間南	47	むさし	45	児玉	44	児玉	41	加須	42	東松山	38	加須	38	川越中	34	新所沢	34	豊谷西	35	朝霞	35	飯戸	33	飯戸	33	飯戸	33		
30	上福岡	47	志木	48	和光	48	加須	47	川越西	46	豊谷西	45	むさし	43	東松山	40	入間南	40	入間南	38	川越中	35	児玉	34	川越中	33	川越中	35	豊谷西	33	川越中	33	川越中	33	川越中	33		
31	志木	47	新産	46	秩山	46	豊谷西	47	秩山	45	川越西	44	川越西	42	上福岡	38	秩山中	39	新秩山	37	入間南	35	入間南	33	鯉ヶ島	32	新秩山	33	豊谷南	33	豊谷西	33	豊谷西	33	豊谷西	33		
32	秩山	47	川越中	45	新秩山	46	上福岡	44	秩山中	45	児玉	44	上福岡	42	川越西	37	本庄南	36	ノース	36	羽生	35	加須	33	上福岡	32	加須	33	むさし	32	鯉ヶ島	30	鯉ヶ島	30	鯉ヶ島	30		
33	新秩山	47	鶴原	45	川越中	45	新産	44	和光	44	小川	43	入間南	40	むさし	36	ノース	36	上福岡	35	関部	34	秩山	32	児玉	32	鯉ヶ島	31	児玉	31	川越南	29	川越南	29	川越南	29		
34	妻沼	47	秩上	44	上福岡	44	秩山	44	豊谷南	44	上福岡	42	日高	39	新産	35	むさし	35	川越中	34	児玉	33	関部	32	加須	32	上福岡	31	新秩山	30	豊谷東	29	豊谷東	29	豊谷東	29		
35	鶴原	47	上福岡	43	豊谷西	44	むさし	43	むさし	43	川越中	41	小川	37	本庄南	35	川越西	34	川越中	34	新秩山	32	川越西	31	新秩山	30	秩山	30	秩山	29	秩山	29	秩山	29	秩山	29		
36	川越中	46	新秩山	43	新産	43	川越中	42	児玉	43	日高	41	越・毛	37	越・毛	34	児玉	34	川越西	31	日高	31	関部	30	むさし	30	新秩山	30	鯉ヶ島	29	新秩山	27	新秩山	27	新秩山	27		
37	新産	43	川越東	42	川越東	42	和光	42	新産	39	川越中	37	川越中	34	川越中	33	関部	34	むさし	31	新秩山	31	川越西	29	関部	30	和光	29	関部	30	和光	29	関部	27	関部	27		
38	秩上	43	秩山	42	秩上	42	日高	41	日高	42	和光	39	和光	36	秩山中	34	上福岡	33	日高	33	日高	31	鯉ヶ島	30	むさし	29	川越西	29	川越西	28	越・毛	26	越・毛	26	越・毛	26		
39	川越東	41	秩山中	42	鶴原	42	川越南	40	鶴原	40	秩山中	39	関部	35	鯉ヶ島	33	日高	33	本庄南	33	本庄南	31	むさし	29	越・毛	28	和光	29	鶴原	27	川越西	26	川越西	26	川越西	26		
40	所沢中	40	日高	41	むさし	40	秩上	40	新産	39	本庄南	36	鯉ヶ島	35	和光	33	関部	33	越・毛	32	越・毛	30	上福岡	29	秩山	28	日高	28	関部	26	日高	25	日高	25	日高	25		
41	日高	39	所沢中	41	日高	40	川越東	39	秩上	37	川越東	35	本庄南	35	関部	33	鯉ヶ島	31	川越西	31	鯉ヶ島	30	本庄南	28	日高	28	鶴原	28	日高	25	児玉	24	児玉	24	児玉	24		
42	秩山中	38	児玉	40	越・毛	39	越・毛	38	本庄南	36	関部	35	新産	34	日高	31	越・毛	30	鯉ヶ島	29	上福岡	29	越・毛	27	本庄南	28	越・毛	25	本庄南	24	鶴原	24	鶴原	24	鶴原	24		
43	児玉	38	妻沼	38	児玉	39	妻沼	38	越・毛	35	越・毛	34	鶴原	33	川越南	29	和光	30	和光	29	鶴原	28	鶴原	27	和光	27	秩山	25	上福岡	23	秩山	23	秩山	23	秩山	23		
44	越・毛	37	越・毛	37	妻沼	39	本庄南	37	川越東	35	上里	34	秩山中	32	川本	29	鶴原	30	鶴原	27	和光	27	和光	25	川本	26	本庄南	25	秩山	22	本庄南	22	本庄南	22	本庄南	22		
45	秩上	37	秩上	35	さつき	35	鶴原	37	上里	35	秩上	34	秩上	32	秩上	29	小川	29	川越南	26	川本	25	川本	25	鶴原	26	川本	24	こぶし	21	さつき	21	さつき	21	さつき	21		

# 2570地区 クラブ数・会員数推移(2009-2024)

No.	2009~10		2010~2011		2011~2012		2012~2013		2013~2014		2014~2015		2015~16		2017~18		2017~18		2018~2019		2019~2020		2020~2021		2021~2022		2022~2023		2023~2024		2024~2025		2025~2026		2026~27				
	加藤 玄幹	西川武重郎	立原 雅夫	鈴木 秀憲	中井 真一郎	坂本 元彦	高柳 資行	前嶋 修身	細井 保雄	茂木 正	鈴木 秀憲	相原 茂吉	水村 雅啓	村田 貴紀	高丹 秀雄	五十櫻 和彦	坂口 孝	原島 生慈																					
1	熊谷	89	熊谷	89	熊谷	88	熊谷	89	熊谷	91	熊谷	91	川越	89	川越	91	川越	91	熊谷	87	川越	84	川越	95	川越	94	川越	97	川越	100	川越	99							
2	川越	87	川越	85	川越	77	川越	85	川越	85	川越	87	熊谷	88	熊谷	90	熊谷	90	川越	86	熊谷	88	熊谷	89	熊谷	89	熊谷	92	熊谷	95	熊谷	98							
3	所沢	65	本庄	67	深谷東	72	本庄	73	深谷東	76	本庄	75	本庄	72	本庄	72	本庄	73	本庄	77	本庄	77	本庄	72	本庄	74	本庄	75	本庄	90	本庄	89							
4	本庄	65	深谷東	64	本庄	69	深谷東	71	本庄	71	深谷東	72	深谷東	69	深谷東	68	深谷東	68	行田	67	深谷東	67	深谷東	66	熊谷	70	熊谷	70	熊谷	65	深谷東	74							
5	深谷東	65	所沢	60	所沢	60	所沢	59	所沢	58	熊谷	56	行田	60	行田	65	行田	65	深谷東	64	行田	64	熊谷	60	深谷東	68	深谷東	69	深谷東	63	熊谷	64							
6	深谷	64	熊谷	58	深谷	55	深谷	57	深谷	58	深谷	56	深谷	57	所沢	57	所沢	57	熊谷	58	熊谷	60	行田	59	行田	59	所沢	58	所沢	58	所沢	58	所沢	63					
7	熊谷	62	深谷	58	熊谷	55	行田	55	熊谷	57	熊谷	57	熊谷	56	所沢	55	熊谷	57	熊谷	58	所沢	58	熊谷	58	熊谷	58	熊谷	58	熊谷	58	熊谷	58	熊谷	54					
8	行田	55	行田	54	行田	54	熊谷	54	行田	54	行田	56	熊谷	54	熊谷	57	熊谷	55	熊谷	58	熊谷	57	熊谷	57	熊谷	57	熊谷	55	行田さくら	55	行田	55	行田	54					
9	秩父	52	秩父	52	秩父	51	秩父	50	秩父	52	秩父	51	秩父	52	秩父	52	秩父	52	秩父	51	秩父	50	行田さくら	51	行田さくら	54	熊谷	51	行田さくら	51	秩父	51	秩父	51					
10	志木	48	志木	50	志木	50	志木	49	富士見	50	富士見	49	富士見	47	さくら	50	行田さくら	50	行田さくら	51	行田さくら	50	秩父	49	秩父	48	所沢東	48	所沢東	49	行田さくら	50							
11	富士見	46	富士見	45	富士見	47	富士見	49	志木	49	志木	47	羽生	47	志木	47	志木	47	羽生	45	羽生	48	羽生	46	所沢東	45	秩父	48	志木	48	志木	48							
12	所沢西	44	入間	45	入間	42	羽生	42	羽生	43	羽生	47	志木	45	富士見	46	羽生	46	志木	44	志木	47	志木	44	東松山むさし	43	入間南	43	秩父	48	所沢東	46							
13	入間	43	所沢西	43	さくら	40	さくら	42	さくら	41	さくら	41	入間	42	羽生	46	富士見	45	入間	44	富士見	44	東松山むさし	42	入間南	43	東松山むさし	42	東松山むさし	39	所沢西	39							
14	加須	39	さくら	39	所沢西	39	入間	39	入間	39	狭山中	40	さくら	41	入間	44	入間	43	所沢東	43	所沢東	44	所沢東	42	志木	42	志木	41	入間	39	羽生	39							
15	さくら	39	所沢東	38	所沢東	38	入間南	39	入間南	39	むさし	39	入間南	40	むさし	42	東松山むさし	42	東松山むさし	42	東松山むさし	43	入間南	41	羽生	41	羽生	39	入間南	39	入間	38							
16	東松山	37	所沢中	37	加須	36	所沢西	36	香居	36	入間	39	むさし	39	入間南	42	入間南	42	富士見	42	入間南	43	富士見	40	富士見	37	入間	37	羽生	39	東松山むさし	37							
17	所沢中	37	加須	37	羽生	37	香居	36	東松山	37	入間南	39	所沢東	38	所沢東	41	所沢東	41	入間南	40	入間	42	入間	37	入間	38	富士見	34	富士見	35	入間南	37							
18	香居	37	ノース	36	所沢中	37	所沢東	37	所沢西	37	所沢西	36	狭山中	35	ノース	34	深谷ノース	34	深谷ノース	35	深谷ノース	32	坂戸	31	所沢西	34	所沢西	33	所沢西	35	富士見	35							
19	ノース	37	羽生	36	東松山	36	所沢中	37	所沢東	37	所沢東	36	ノース	33	狭山中	32	狭山中央	32	狭山中央	31	坂戸	31	所沢西	30	坂戸	31	香居	32	香居	33	香居	35							
20	所沢東	36	朝霧	35	朝霧	35	加須	37	所沢中	35	所沢中	34	川・中	32	坂戸	30	加須	31	鶴ヶ島	30	所沢西	30	川越中央	29	香居	30	坂戸	29	鶴ヶ島	30	鶴ヶ島	30							
21	羽生	36	入間南	35	むさし	35	むさし	35	川越中	34	香居	34	朝霧	31	鶴ヶ島	30	坂戸	30	新産	30	狭山中央	30	深谷ノース	29	川越中央	29	鶴ヶ島	29	坂戸	29	熊谷難原	30							
22	川越中	35	香居	35	香居	34	東松山	33	狭山中	34	川越中	33	鶴ヶ島	30	川・中	30	鶴ヶ島	30	坂戸	29	鶴ヶ島	29	香居	28	深谷ノース	29	熊谷難原	28	熊谷南	28	坂戸	28							
23	朝霧	35	東松山	34	入間南	34	朝霧	33	ノース	34	朝霧	33	新産	30	朝霧	30	川越中央	30	所沢西	29	新産	29	新産	27	熊谷難原	27	深谷ノース	27	熊谷難原	27	熊谷南	27	熊谷南	27					
24	入間南	35	むさし	34	川越中	32	ノース	33	朝霧	32	ノース	33	坂戸	29	加須	30	朝霧	30	川越中央	28	朝霧	28	熊谷難原	27	鶴ヶ島	26	熊谷南	27	深谷ノース	25	川越西	26							
25	新産	33	熊谷東	33	狭山中	31	川越中	31	加須	32	東松山	32	所・中	29	熊谷東	29	熊谷東	29	朝霧	28	熊谷東	28	鶴ヶ島	26	新産	26	川越中央	25	川越西	24	新産	25							
26	新所沢	33	狭山中	32	熊谷東	29	熊谷東	31	熊谷東	31	加須	33	加須	33	加須	28	新産	28	新産	28	熊谷東	28	川越中央	27	熊谷東	26	加須	28	川越西	24	川越中央	23	深谷ノース	25					
27	狭山中	33	川越中	31	ノース	29	狭山中	29	東松山	30	坂戸	29	熊谷東	26	所沢西	28	所沢西	28	加須	27	熊谷難原	27	朝霧	25	朝霧	25	朝霧	24	東松山	22	東松山	23							
28	むさし	32	鶴ヶ島	30	越・毛	26	鶴原	27	鶴ヶ島	26	新産	29	所沢西	27	東松山	26	東松山	26	東松山	26	加須	26	加須	25	熊谷東	24	加須	23	新産	22	朝霧	23							
29	熊谷東	31	新所沢	28	熊谷南	27	越・毛	26	新産	27	鶴ヶ島	26	香居	27	さつき	25	坂戸さつき	25	熊谷難原	26	東松山	25	狭山中央	23	東松山	22	東松山	22	朝霧	21	加須	22							
30	鶴ヶ島	29	熊谷南	28	鶴原	27	鶴ヶ島	26	鶴原	27	鶴原	23	東松山	26	鶴原	25	香居	25	香居	24	熊谷難原	25	坂戸さつき	23	所沢中央	24	熊谷南	22	坂戸さつき	21	熊谷東	21	日高	20	狭山中央	20			
31	越・毛	26	越・毛	27	新産	25	新産	25	越・毛	26	新所沢	22	鶴原	25	香居	24	熊谷難原	25	坂戸さつき	23	所沢中央	24	熊谷南	22	坂戸さつき	21	熊谷東	21	日高	20	狭山中央	20							
32	鶴原	27	新産	27	日高	25	坂戸	25	日高	25	熊谷東	22	新所沢	19	所・中	22	所沢中央	22	所沢中央	23	熊谷南	22	東松山	21	新所沢	21	所沢中央	20	熊谷東	20	坂戸さつき	19							
33	熊谷西	26	鶴原	27	坂戸	25	日高	25	坂戸	24	熊谷南	21	熊谷南	19	新所沢	20	新所沢	20	新所沢	20	坂戸さつき	20	所沢中央	21	狭山中央	21	狭山中央	20	坂戸さつき	19	新所沢	19							
34	熊谷南	26	新狭山	27	鶴ヶ島	24	熊谷南	25	熊谷南	23	さつき	19	さつき	18	熊谷南	20	熊谷南	20	日高	20	新所沢	20	坂戸さつき	20	川越西	20	坂戸さつき	19	狭山中央	19	日高	19							
35	坂戸	25	坂戸	24	新狭山	24	新狭山	23	新狭山	21	新狭山	19	新狭山	17	日高	18	日高	18	熊谷南	19	日高	19	川越西	19	新狭山	19	所沢中央	20	日高	18	新狭山	18	所沢中央	18					
36	新狭山	25	日高	23	本庄南	22	さつき	20	さつき	20	本庄南	19	越・毛	17	川越西	17	川越西	17	岡部	17	越生毛呂	16	越生毛呂	16	越生毛呂	16	新狭山	16	和光	17	所沢中央	18	岡部	17					
37	狭山	24	狭山	22	新所沢	21	和光	20	本庄南	19	日高	18	小江戸	15	越・毛	16	越生毛呂	16	新狭山	16	小江戸	16	川越西	17	日高	16	日高	16	新狭山	17	新所沢	17	熊谷東	17					
38	日高	24	さつき	21	和光	21	本庄南	20	岡部	18	岡部	16	岡部	15	新狭山	16	新狭山	16	越生毛呂	15	新狭山	17	新狭山	16	川越小江戸	17	川越小江戸	16	岡部	16	川越小江戸	15							
39	川越南	22	熊谷西	21	熊谷西	21	新所沢	19	新所沢	17	越・毛	16	川越西	14	小江戸	15	岡部	16	川越小江戸	15	川越小江戸	15	川越小江戸	15	本庄南	16	岡部	15	新所沢	16	和光	12	新狭山	14					
40	岡部	22	本庄南	20	さつき	20	岡部	18	キョウト	13	小江戸	15	キョウト	14	岡部	15	川越小江戸	15	川越西	15	岡部	15	岡部	15	岡部	15	越生毛呂	14	岡部	16	越生毛呂	10	新産こぶし	11					
41	さつき	21	和光	19	岡部	19	狭山	17	川越西	12	川越西	14	新狭山	14	本庄南	14	本庄南	14	本庄南	15	本庄南	15	川越小江戸	13	和光	12	越生毛呂	14	川越小江戸	10	越生毛呂	8							
42	和光	21	岡部	18	狭山	17	川越西	15	和光	12	キョウト	14	本庄南	14	キョウト	13	朝霧キャロット	13	朝霧キャロット	12	朝霧キャロット	12	朝霧キャロット	11	朝霧キャロット	10	朝霧キャロット	10	朝霧キャロット	10	朝霧キャロット	10	朝霧キャロット	7					
43	本庄南	21	小江戸	17	小江戸	16	こぶし	15	柳瀬川	12	和光	12	こぶし	12	こぶし	13	新産こぶし	13	菅野・長瀬	12	菅野・長瀬	11	朝霧キャロット	10	菅野・長瀬	10	小川	9	新産こぶし	8	熊谷西	7							
44	川越西	20	川越西	17	こぶし	16	小江戸	14	狭山	12	こぶし	12	川本	12	菅・長	12	菅野・長瀬	12	川本	10	小川	9	熊谷西	10	小川	9	新産こぶし	9	熊谷西	8	小川	5							
45	児玉	19	菅・長	17	ふじ野	15	キョウト	13	菅・長	12	川																												

Rotary



RI会長エレクト マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ  
ガバナー 五十幡 和彦  
インカミングガバナー 坂口 孝  
ホストクラブ 入間南ロータリークラブ